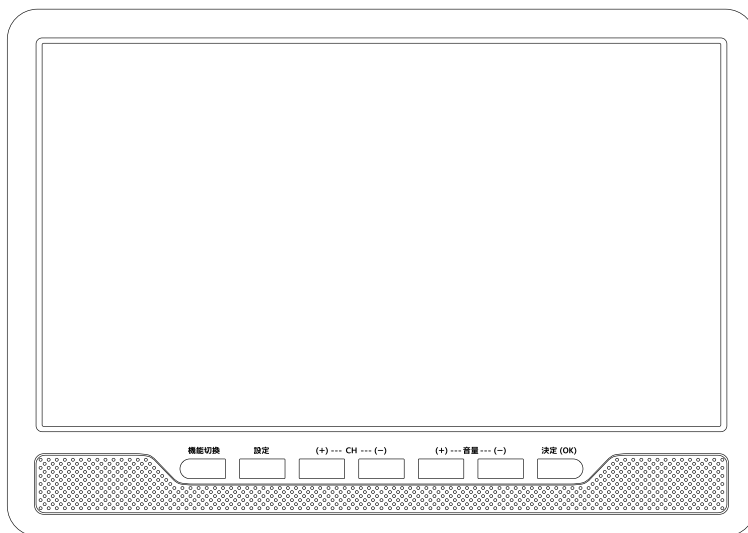


この度は本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

【地上・BS・CSチューナー搭載】
【10.1型液晶】【録画機能付き】

コンパクトTV

取扱説明書



<必ずお読みください>

電気製品は安全の為に注意事項を守らないと、重大な事故が起きる場合があります。この取扱説明書には、事故を未然に防ぐ為の重要な事項や取扱い方法を明示しております。本書をよくお読みの上、安全にご使用くださいますようお願い申し上げます。



※本書はいつでも見られる場所へ大切に保管してください。

目次

はじめに	
安全上の注意	3-6
付属品リスト	7
各部名称（本体）	8
各部名称（リモコン）	9
リモコンについて	10
ご視聴前の準備	
機器の設置	11
B-CAS カードの準備	12
アンテナの準備	13-14
電源の準備	15
地デジ放送局(CH)の登録	16-17
アンテナ受信レベル	18
テレビを視聴する	
基本的な使い方	19-20
電子番組ガイド（EPG）の利用	21
※ワンセグサービス(地デジ)の視聴	22
「録画」に関する機能や操作	
録画機能について	23
メディアの準備	24-25
「録画」に関する機能の利用	26-28
付加機能を利用する	
外部機器の接続／入力ソース切替	29
メディアプレーヤーソフトの利用	30-31
機器の調整（機器設定メニュー）	32-34
トラブルシューティング	35-37
製品仕様	38
その他（各種注釈や免責など）	39-40
アフターサービス／保証規定	40-41







- ご使用前に当項「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- 当項に明示された事項（「警告」「注意」）は安全に関する重大な内容が記載されておりますので必ずお守りください。
- 当項に明示された事項を守らず故障や不具合が発生しても保証は適用されず、当社では一切の責任を負いません。






■表示の説明













表示	表示の意味
 警告	“ 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症（*1）を負うことが想定されること” を示します。
 注意	“ 取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること” を示します。

- (*1) 重症とは失明やケガ、やけど（高温/低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期通院を要するものをさします。
- (*2) 傷害とは治療に入院や長期通院を要さないケガ、やけど、感電などをさします。
- (*3) 物的損害とは家屋、家財および家畜、ペットなどに関わる拡大損害をさします。

■図記号の例

図記号	図記号の意味
	“  ” は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や付近に絵や文章で示します。
	“  ” は指示行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制事項の内容は、図記号の中や付近に絵や文章で示します。
	“  ” は注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や付近に絵や文章で示します。

異常/故障のとき	 警告
発煙や異臭がおきた場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。発煙がおさまったことを確認し、お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。	 電源プラグを抜く
内部に水や異物が入った場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまで点検をご依頼ください。	 電源プラグを抜く
製品の落下やキャビネットの破損がおきた場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまで点検をご依頼ください。	 電源プラグを抜く
コード部分の損傷や電源プラグの異常な発熱がおきた場合、すぐに電源を切り、プラグが冷えたことを確認し、コンセントから抜くこと そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまで点検をご依頼ください。	 電源プラグを抜く

設置されるとき	 警告	
お風呂、シャワー室、キッチンなど、水のかかる恐れのある場所には設置しないこと 火災や感電の原因となる場合があります。		 指示
電源プラグは先に本体に接続してからコンセント（またはシガーソケット）に接続すること 電源アダプターは付属されている本機専用のアダプターを使用すること 接続順を逆にしたり、付属品以外の物を使用した場合、火災や感電の原因となる場合があります。（※車用 DC アダプターは DC12V マイナスアース車専用です）		 指示
お風呂、シャワー室、キッチンなど、水のかかる恐れのある場所には設置しないこと 火災や感電の原因となる場合があります。		 禁止
機器や付属品の上に物を置かないこと 金属類、液体が入ったもの（花瓶、コップ、化粧品など）、重いものなどを機器の上に置くと、機器の破損、火災、感電、ケガなどの原因となる場合があります。		 上載せ 禁止
ご使用されるとき	 警告	
改造・分解・修理などおこなわないこと 火災や感電の原因となる場合があります。 点検や修理はお買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまでご依頼ください。		 分解禁止
端子部や通気口などから異物を入れないこと 金属類、紙類、ほこりなどが内部に入るとショートして火災や感電の原因となる場合があります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。		 異物挿入 禁止
雷が鳴りだしたら、本機およびアダプター等には触れないこと 感電の原因となる場合があります。		 接触禁止
コード類（電源コード、接続コードなど）は 「傷をつける」「延長などの加工を施す」「加熱する」「引っ張る」「無理に曲げる」 「ねじる」「束ねる」「重い物を載せる」などの行為をおこなわないこと コード内部で断線やショートして、火災や感電の原因となる場合があります。		 禁止
お手入れについて	 警告	
電源プラグの刃や刃の取付け面、コンセントの差込部分にゴミやほこりが付着している場合は、プラグを抜きしっかり取り除くこと 電源プラグの絶縁低下により、ショート、火災、感電の原因となる場合があります。		 指示

設置されるとき	 注意
<p>温度の高い場所に設置しないこと 直射日光の当たる場所や締め切った自動車内や暖房機器周辺などに置くと、火災や感電の原因となる場合があります。また機器や部品の劣化、破損する恐れがあります。</p>	 禁止
<p>湿気、油煙、ほこりの多い場所に設置しないこと 火災や感電の原因となる場合があります。 また機器や部品の劣化、腐食、変形、破損する恐れがあります。</p>	 禁止
<p>風通しが悪い（換気できない）場所に設置しないこと 内部の温度が上昇し、ショート、故障、火災の原因となる場合があります。 特に「壁に押し付ける」「押入れや本棚に設置する」 「布や紙など引火しやすい物の付近に設置する」 などの行為をおこなわないこと</p>	 禁止
<p>設置場所を移動する場合、電源プラグや接続コードは外すこと プラグやコードを抜かずに運ぶと、コード類が傷つき、断線や故障、火災、感電の原因となる場合があります。また転倒によりケガをする恐れがあります。</p>	 指示
ご使用されるとき	 注意
<p>電源プラグを抜く場合、コード部分を引っ張らないこと コードを引っ張ると、コードが傷つき、断線、ショート、火災、感電の原因となる場合があります。必ず電源プラグを持って、抜いてください。</p>	 引っ張り 禁止
<p>濡れた手で電源プラグやコード類、コンセントを触らないこと 感電や機器の故障の原因となる場合があります。</p>	 接触禁止
<p>本機を長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと 万一故障した場合、火災の原因となる場合があります。</p>	 電源プラグ
<p>主電源を入れる際は本体や接続機器の音量（ボリューム）にご注意ください。 最大音量の場合、大きな音が出て聴覚障害などの原因となる場合があります。</p>	 指示
<p>リモコンの電池を準備（交換）する場合、以下にご注意ください。 「指定外の電池を使用しない」「電池の仕様以外の方法で使用しない（推奨期限の厳守等）」 「極性（+/-）を間違えない」「使い切った電池をリモコンに放置しない」 ... など 正しく使用されない場合、液漏れ、破裂などにより、火傷やケガの原因となる場合があります。（※ご購入初期時に同梱されている電池は試用品です）</p>	 指示

◎取り扱いに関すること

- 引越しなどで遠方へ運ぶときは、柔らかい布などで包み、本機に傷がつかないようにご注意ください。
- 殺虫剤や揮発性の物をかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などと長時間接触させないでください。本機外観の変色や塗装が傷む原因となります。
- 普段本機をご使用されないときは、ディスクを取り出し主電源のスイッチを切っておいてください。
- 本機を長時間ご使用されると機器内部基盤が多少発熱する場合がありますが故障ではありません。
- 長期に渡り未使用状態が続くと機器機能に支障がでる場合があります。

◎置き場所に関すること

- 本機は水平な場所に設置してください。グラグラする机や傾斜地など不安定な場所では使用しないでください。「倒れる」「落下する」などが起きてケガや故障の原因となる場合があります。
- 本機をテレビやラジオ、その他電子機器の周辺で使用すると、ノイズや電磁波などの干渉により映像や音声が乱れるなどの症状がでる場合があります。このような場合は設置場所を他の機器と干渉しない場所に移動してご使用ください。

◎お手入れに関すること

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは柔らかい布などで軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を布にひたし、よく絞ってから拭き取ってください。汚れが取れたら乾いた布で水分をしっかりと拭き取ってください。
(注) ベンジン、シンナー等は使用しないこと。本機外観の変色や塗装が傷む原因となります。
- 化学ぞうきんをご利用される場合はその注意書きにしたがってください。

◎日本国内用／一般家庭用機器です

- 本機は日本国内で使用することを前提に製造されております。また一般家庭用機器として製造されております。日本国外での使用、業務用途、異常な連続使用などは行わないでください。

◎結露（露付き）について

- 結露は機器を傷めます。結露が起きそうな場所や条件下でのご使用にはご注意ください。
(参考) “結露” はこんなときにおきます。
 - ◇ 寒暖の差が激しい季節（特に車内や締め切った部屋など）
 - ◇ 機器を寒い場所から急に暖かい場所に移動したとき
 - ◇ エアコン / ストーブ / その他冷暖房などにより部屋の室温が急に変化したとき
 - ◇ エアコン / ストーブ / その他冷暖房の風が直接あたる場所
 - ◇ 湿度の高い部屋で使用したとき
- 結露が生じて本機に水滴が付いた場合、「電源（コンセントなど）」「アダプター」「電源プラグ」を接続し、暫く放置します。機器内部の温度が上がり、水滴がとれます。（※2～3時間 ※使用場所や環境により時間は異なります）

◎本機をご使用いただく前に、以下の内容物が全て揃っていることをご確認ください。

 <p>●本体</p>	 <p>●リモコン (試用電池付)</p>	 <p>●AC アダプター</p>	 <p>●シガーソケット アダプター (12V 車専用)</p>
 <p>●AV 接続コード (RCA) (φ3.5mm)</p>	 <p>●地デジ受信用 簡易アンテナ (屋外用)</p>	 <p>●取扱説明書 (本書)</p>	 <p>●製品保証書</p>
 <p>●車載用バッグ</p>	 <p>●B-CAS カード</p>		

※リモコン付属の電池はテスト用の試供品です。早めに新品と交換してください。

※シガーソケットアダプター(付属品)について...

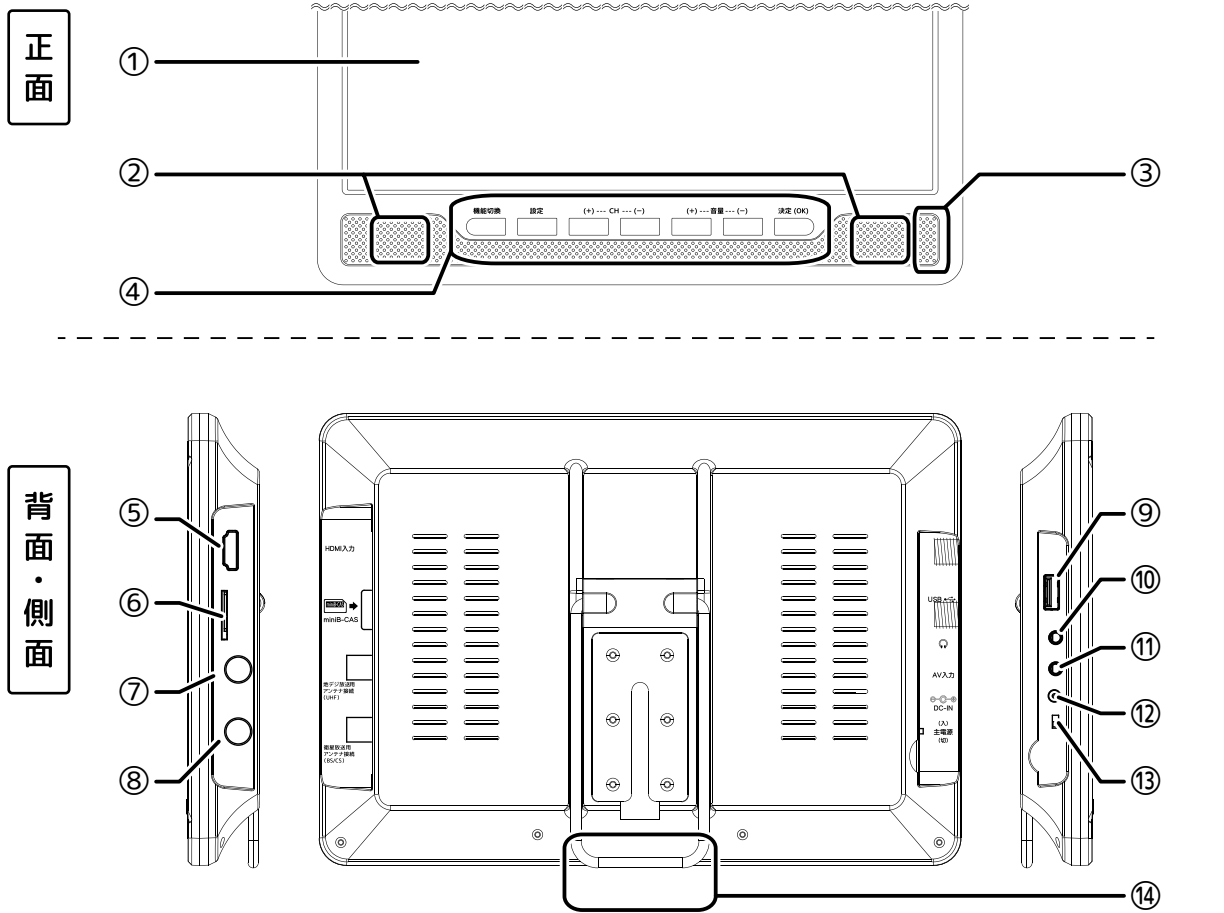
- お車をご利用される際は、安全な場所に停車してからご利用ください。
- お車と接続する際は、エンジンをかけてから接続してください。
- 付属のアダプターはDC12Vバッテリー使用の自動車専用です。
- 付属のアダプターはマイナスアース車専用です。
- 付属のアダプターの形状は一般的な車のソケット形状に合わせて作られています。車側のソケット形状によっては取付けられない場合があります。

※地デジ放送受信用簡易アンテナ(付属品)について...

- 本製品付属の地上デジタル放送受信用の簡易的なアンテナです。こちらのアンテナを利用して「衛星放送 (BS/CS) 番組」のご視聴はできません。また、このアンテナは簡易的なサービス品です。ブースター (電波増幅装置) 等は搭載されていない為、アンテナを設置する環境 (山間部など) や場所 (室内や地下など) によってはご視聴いただけない場合があります。特に、初期設定 (チャンネル登録) を行う際はスキャンの失敗や登録漏れを防ぐ為、受信レベルの高いアンテナと接続して設定を行ってください。

※上図イラストは説明用のものです。実物とは異なる場合があります。

各部名称 (本体)

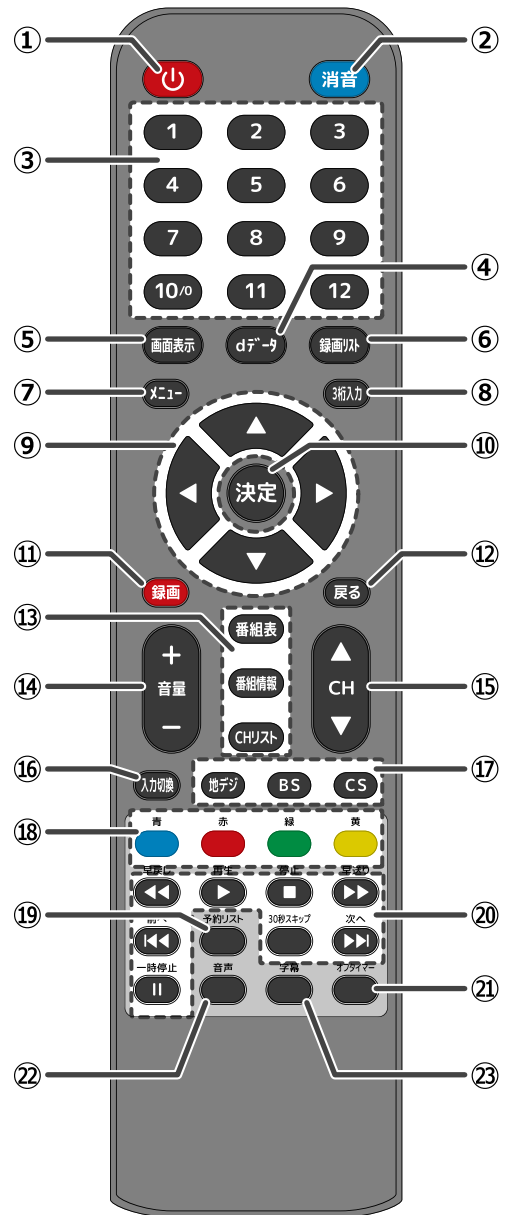


- ① 液晶パネル
- ② スピーカー
- ③ 状態表示ランプ/リモコン受光部
- ④ 操作ボタン (※左から[機能切換][設定][CH切換(+/-)][音量切換(+/-)][決定])
- ⑤ HDMI入力端子
- ⑥ miniB-CAS挿入口
- ⑦ 地デジ放送用アンテナ入力端子(UHF)
- ⑧ 衛星放送用アンテナ入力端子(BS/CS)
- ⑨ USB2.0ポート
- ⑩ イヤホン出力(Φ3.5mm)
- ⑪ AV入力端子(RCA)
- ⑫ DC電源入力端子
- ⑬ 主電源スイッチ
- ⑭ 設置用スタンド

各部名称 (リモコン)

※ご注意：本書に掲載している画面・イラストなどは機能等を説明する為のものであり、実際の表示とは多少異なる場合があります。

- ① **電源ボタン**
電源のON/OFF(スタンバイ状態)切換
- ② **消音ボタン**
音量を消音(ミュート)状態に切換
※再度押すと元の音量に戻る
- ③ **数字ボタン**
チャンネル選局など数字入力時に使用
- ④ **dデータボタン**
視聴中番組のデータ放送を表示
- ⑤ **画面表示ボタン**
受信中の放送局の情報等を表示
- ⑥ **録画リストボタン**
録画したデータのリストを表示
- ⑦ **メニューボタン**
各設定メニューを表示
- ⑧ **3桁入力ボタン**
放送局の3桁チャンネル番号を選局
- ⑨ **方向ボタン(▲▼◀▶)**
設定画面や番組表のカーソルを移動
- ⑩ **決定ボタン**
各操作や設定の決定(実行)
- ⑪ **録画ボタン**
視聴中の番組をダイレクト録画
- ⑫ **戻るボタン**
一つ前の操作に戻る
- ⑬ **情報ボタン**
「番組表」「番組情報」「チャンネルリスト」を表示
- ⑭ **音量調整ボタン**
音量の +/- 調整
- ⑮ **チャンネル切換ボタン**
視聴チャンネルを登録順に切換
- ⑯ **入力切換ボタン**
外部機器を利用する場合のモード切換
- ⑰ **視聴波切換ボタン**
視聴する放送波(地上波/BS/CS)の切換
- ⑱ **カラーボタン(青/赤/緑/黄)**
番組表や録画データ視聴時等に使用
- ⑲ **予約リストボタン**
設定した予約(視聴/録画)のリストを表示
- ⑳ **データ操作ボタン**
録画データや外部保存データの操作時に使用



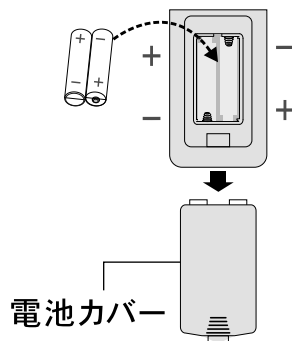
- ㉑ **オフタイマーボタン**
電源オフタイマーの設定
- ㉒ **音声設定ボタン**
副音声等の音声の切換・設定
- ㉓ **字幕設定ボタン**
字幕放送等の字幕の切換・設定

◎リモコン用の電池について

- リモコン用電池の規格は単4型(LR03)です。
電池をご用意いただく際は型番をご確認の上お買い求めください。
- 製品お買い上げ時に同梱されている電池はテスト用試供品です。
早々に新品の電池と交換してください。

◎電池の取付け(交換)方法

- ① リモコン背面の電池カバーを取り外します。
- ② 電池の向き(+/-)に注意して乾電池をセットします。
- ③ 電池カバーを元に戻します。



⚠ 注意

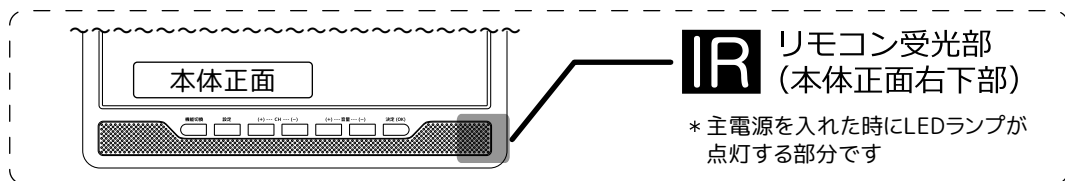
- 乾電池は新品と使用品を混ぜて使用しないでください。
- 長時間リモコンを使用しない時は、電池の液漏れを防ぐ為、乾電池を取り出してください。
- 不要になった乾電池を廃棄する場合、各自治体の指示に従って処理してください。

⚠ 警告

- 乾電池を直射日光の強いところや炎天下の車内・暖房機器の側など、高温な場所で使用や放置をしないでください。液漏れや発熱・破裂・発火などの原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。

◎リモコンの使用方法

- リモコンを使用する場合、リモコンの赤外線発射部を本機のリモコン受光部に向けて操作してください。受光する角度は、 $\pm 30^\circ$ 、距離は 3m 以内です。

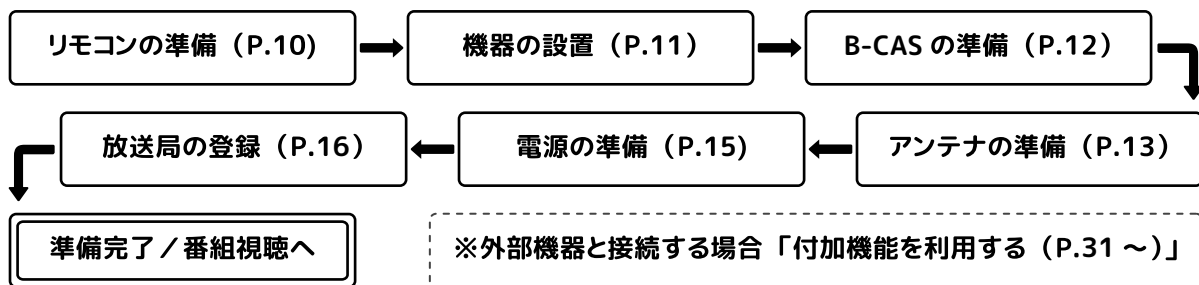


※ 本体受光部やリモコン赤外線発射部に太陽光など強い光をあてないでください。
正常に作動しない場合があります。

ご視聴前の準備

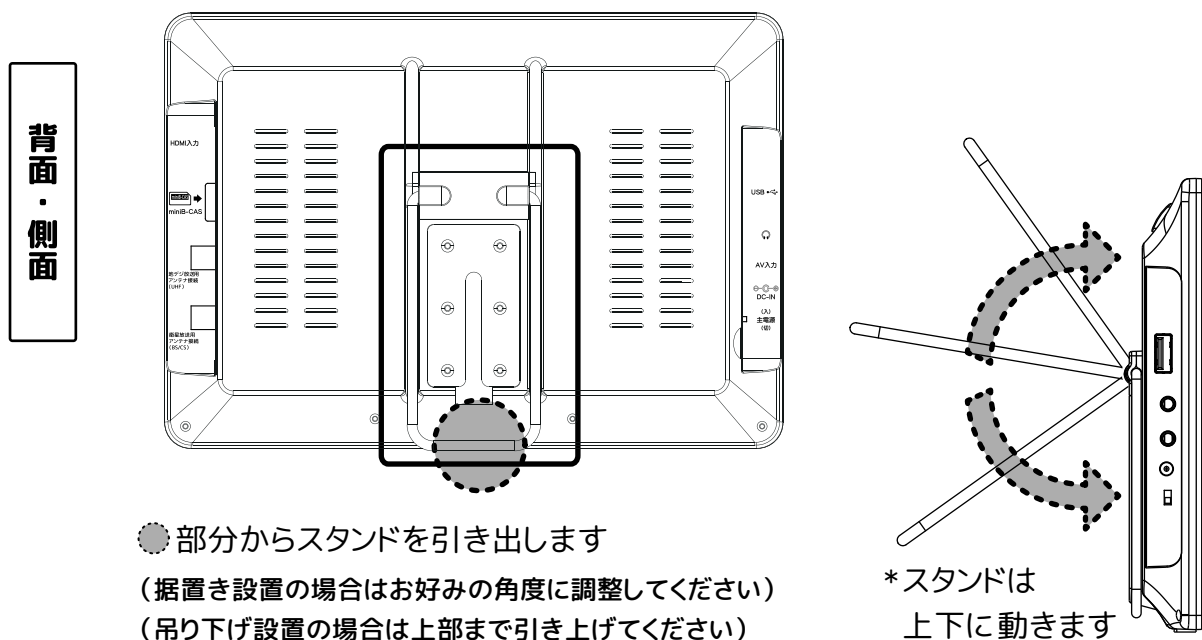
◎ご視聴前の準備

● ご視聴までに必要な流れは以下の通りです。(設置・接続・設定など)



機器の設置

◎機器背面部のスタンドを利用して好みの場所に設置してください

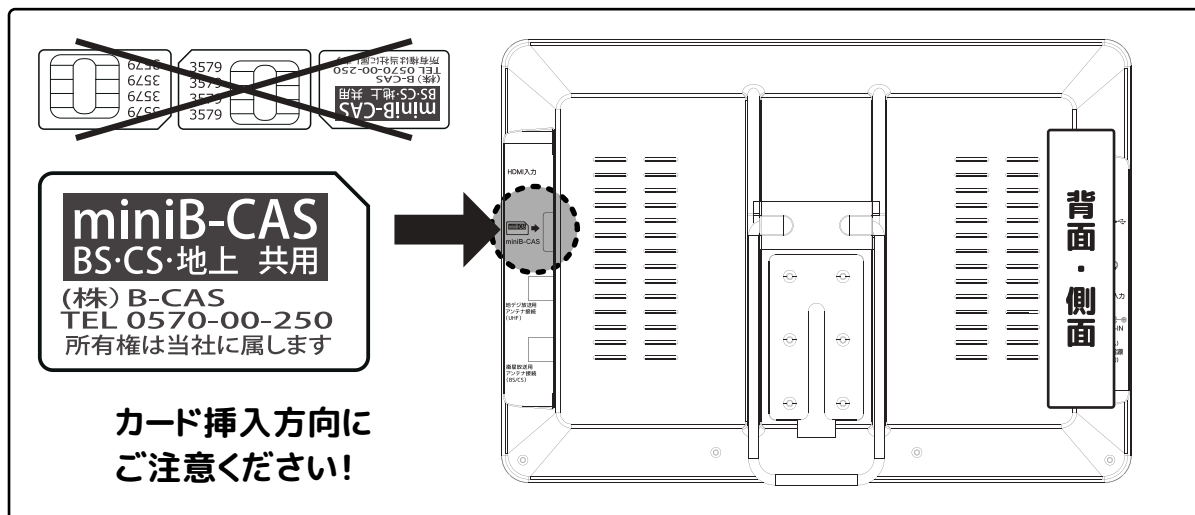


⚠ ご注意 (ご確認) ください

※極端に温度や湿度が高い (または低い) 場所への設置は行わないでください。故障や変形などの原因となる場合があります。特にお車でご利用される場合、極所に放置等にご注意ください。
※お車でご利用の場合、運転中の操作や視聴は事故などの原因となる場合がありますので絶対に行わないでください。

B-CAS カードの準備

- 各放送番組をご視聴される際は、B-CAS (miniB-CAS) カードの常設が必須です。
以下ご参照の上、正しく装着してください。



- ① 付属品として同梱されている「miniB-CAS カード」を台紙から取り出します。
- ② 本体背面を見て左側端子部ある miniB-CAS 挿入口を確認します。
- ③ 図を参照に「ラベル面が見える」「角欠け部分が下向き」の方向に真っすぐに押し込みます。(奥まで入ると「カチッ」と音が鳴りカードが固定されます)
(注) 誤った方向に差し込むとカードや機器が故障する場合があります。
カードの挿入方向を間違えないようにご注意ください。
- ④ カードを取り出す場合、カード中央部をツメなどで押し込みます。
(バネの力で押し戻されてカードが排出されます)
(注) カードの取付けや取り出しの際は急に手を離さないでください。
内部のバネの力でカードが飛び出して紛失する恐れがあります。



- (参照) B-CAS カードの取扱いに関する詳細はカード封入用紙をご確認ください。
B-CAS カードの破損・故障・紛失などに関するお問合せ先は下記の通りです。
(株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステム / B-CAS カスタマーセンター
TEL : 0570-000-250

△ ご注意 (ご確認) ください

- ※地上デジタル放送サービスにはフルセグ放送サービスとワンセグ放送サービスがあります。
地デジ放送(フルセグ)及び衛星放送(BS/CS)をご視聴される場合、B-CASの取付けが必須です。

アンテナの準備

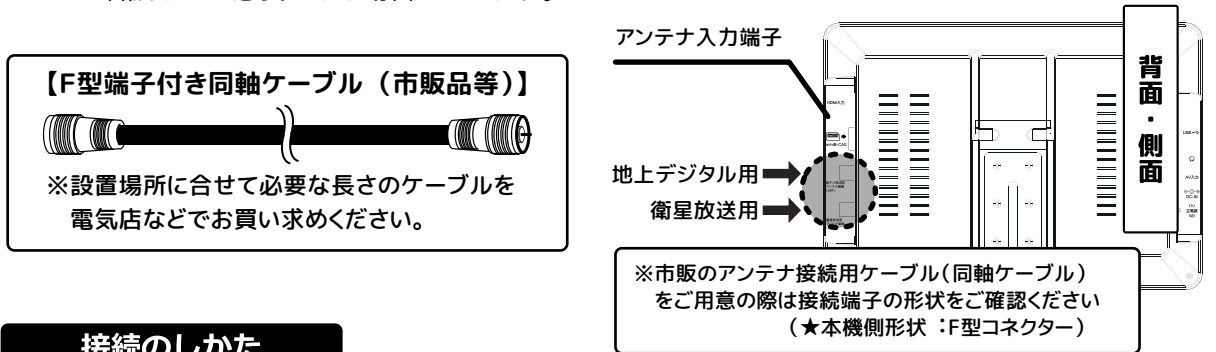
■地デジ放送(UHF)および衛星放送(BS/CS)受信用アンテナとの接続

- 各放送サービスのご視聴にはそれぞれに対する受信用アンテナとの接続が必須です。各端子の形状などに注意して正しく取り付けてください。

*アンテナについてのご注意

UHFアンテナ(地上デジタル用)および衛星放送受信アンテナ(BS/CS用)が設置されているかをご確認ください。各放送が受信可能なアンテナと本機を正しく接続しないと放送番組はご覧いただけません。アンテナの設置やご購入については、電気店や専門の設置業者などにご相談ください。

※本機と接続したアンテナの受信レベルが低い場合、画像がモザイク状になったり音声のみになるなどの症状が起こる場合があります。この場合、アンテナの位置調整やブースター(又は減衰器)等の増設が必要になる場合があります。

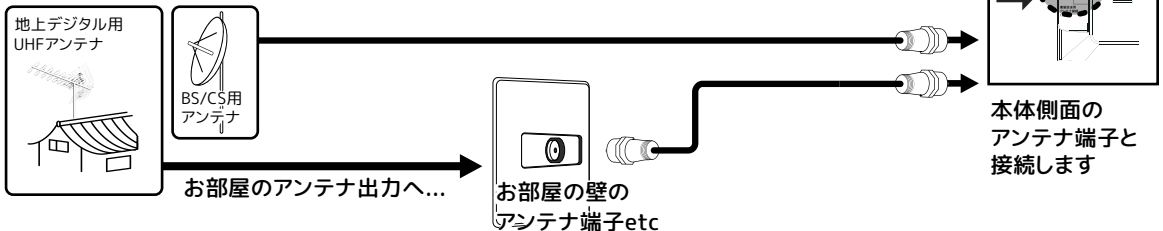


接続のしかた

■地デジ放送(UHF)と衛星放送(BS/CS)の信号が混合されている場合



■地デジ放送(UHF)と衛星放送(BS/CS)の信号が個別の場合



△ CATV社(ケーブルテレビ)や集合住宅等の共同アンテナの場合

※CATV社や集合住宅等の共聴システムでお部屋に伝送されている場合、パススルー方式(受信した電波をそのまま伝送される方式)で伝送された各放送波のご視聴が可能です。

その他の方式(トランスモジュレーション方式など)で伝送された電波と本機を接続しても、正しく映像化されずご視聴いただけない場合があります。

詳しくはCATV社や共聴システム管理者へお問合せください。

※アンテナや配線を他の電気機器等に近接しないでください。
受信障害の原因となる場合があります。



アンテナの準備

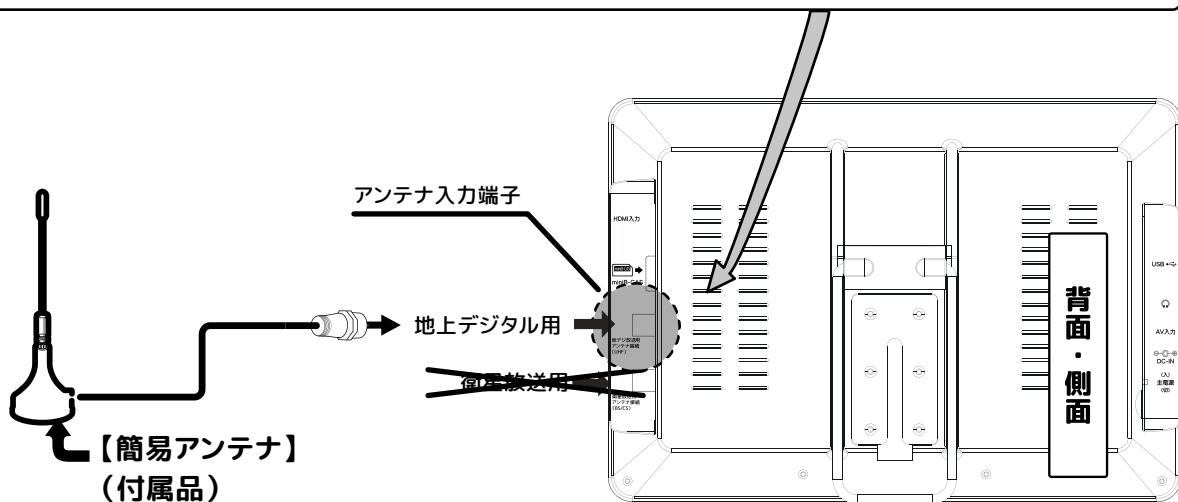
■屋外などでご視聴される場合(簡易アンテナ(付属品)の利用)

- 付属品のアンテナは地上デジタル放送受信の簡易的なアンテナです。このアンテナを利用して衛星放送(BS・CS)サービスのご視聴はできません。また、ブースター(電波増幅装置)等は内蔵されておりませんので、屋内・地下・山間部などの電波が微弱な場所ではご視聴いただけない場合があります。この場合は、別途市販品等の受信力の高いアンテナを本機と接続してご利用ください。

接続のしかた

⚠ ご注意(ご確認)ください

※付属品アンテナを取付ける場合、必ず「地上デジタル用」のアンテナ端子に取付けてください。「衛星放送用」の端子に取付けても各放送サービスのご視聴はできません。



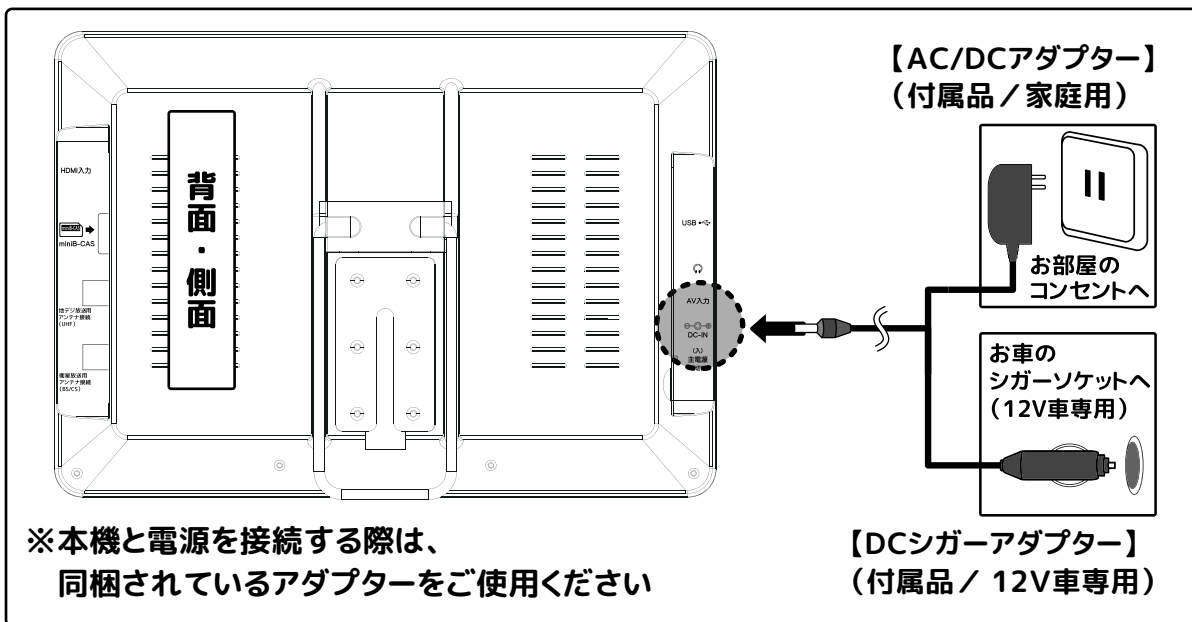
⚠ ご注意(ご確認)ください

※付属品アンテナでは衛星放送サービス(BS・CS)の受信・ご視聴はできません。
※アンテナ線を他の電気機器等に近接しないでください。受信障害の原因となる場合があります。
※付属品アンテナを利用した場合、他の機器(携帯電話やラジオなど)でTV視聴ができる場所でも、本機でご視聴ができるとは限りません。予めご了承ください。

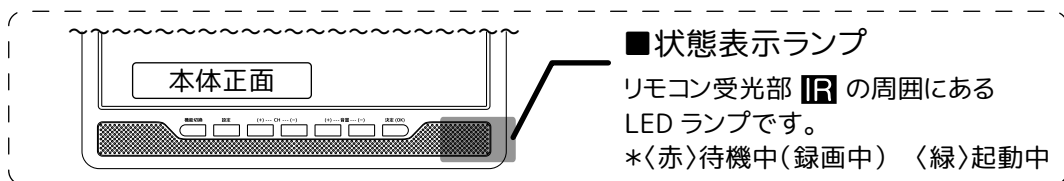
電源の準備

◎電源の接続

- ① 本体側面の主電源スイッチがオフ（切）であることを確認します。
- ② 本体側面の「電源入力端子」と「電源アダプター（AC又はDC）」と「電源（コンセントやシガーソケット）」をそれぞれ接続します。



- ③ 本体の主電源スイッチをオン（入）にして、状態表示ランプを確認します。
〈赤〉待機状態 / 点滅=番組録画中 〈緑〉点灯=起動中
状態表示ランプが〈赤〉の場合、リモコンの【電源ボタン】を押して本体を起動します。

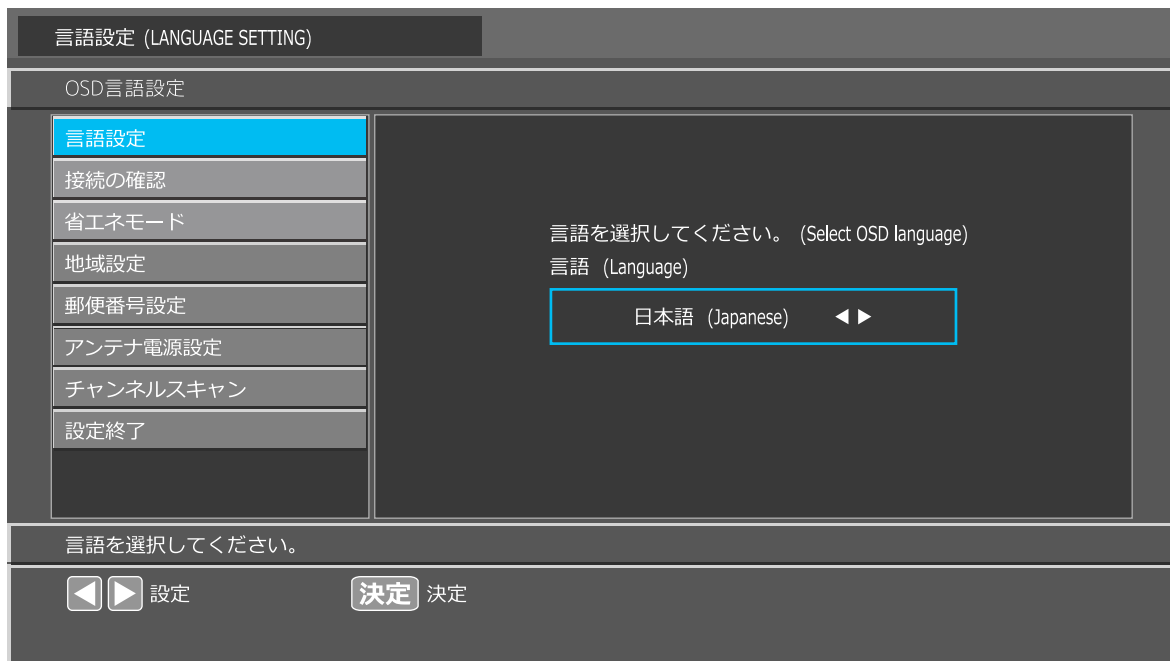


ヒント) 状態表示ランプが点灯していないとリモコン等では一切操作できません。
本体側面の主電源スイッチをご確認ください。

⚠️ ご注意 (ご確認) ください

- ※各端子やケーブルとの接続は、本体の主電源がオフ（切）の状態で行ってください。
- ※AC アダプターは必ず付属品のものをご使用ください。
- ※車載用 DC シガーアダプターは「12V」車専用です。24V バッテリー車等では使用できません。
(アダプターや本体に過度の電圧がかかり故障や破損の原因となる場合があります)
- ※車載用 DC シガーアダプターはお車のエンジンをかけた状態で取付けてください。
(シガーアダプターを接続したままエンジンをかけると、スタート時に過度な電圧がかかり故障や破損の原因となる場合があります)
- ※エンジン停止中は車載用 DC シガーアダプターをお車のプラグから外してください。
(お車のバッテリーを消耗し続け、残量低下などの原因となる場合があります)

◎お買い上げ初期時に初めて電源を入れた時、下記画面が表示されます。
リモコンの「◀/▶/決定/戻る」ボタンを使って画面表示の指示に従いながら、設置地域に合わせた設定を行ってください。

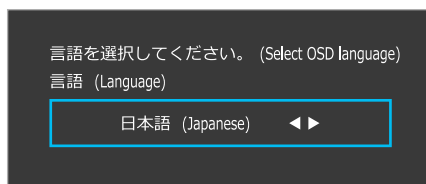


⚠ 注意 ●チャンネル設定の前に以下の項目をご確認ください。
①電源プラグが正しく接続されていること ②アンテナ線が正しく接続されていること
③miniB-CASカードが正しく挿入されていること

1. 言語設定

■表示言語を設定します

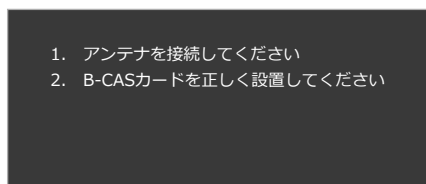
リモコン[◀/▶]ボタンで言語を選択
[決定]ボタンで次項へ



2. 接続の確認

■各放送の受信に必要な各接続を確認します

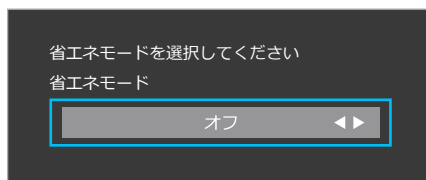
*本体とアンテナが正しく接続されているか
*本体にB-CASカードが正しく設置されているか



3. 省エネモード

液晶パネルの輝度(バックライトへの電力)の調整/選択を行います。

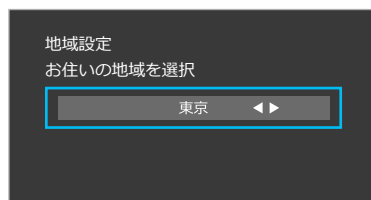
(オフ↔低↔中↔高)



4. 地域設定

■本機を設置する場所(地域)を選択します

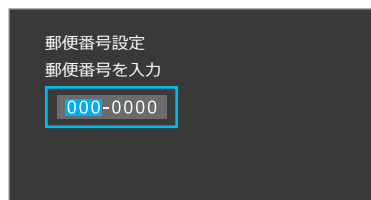
リモコン[◀/▶]ボタンで地域を選択
[決定]ボタンで次項へ (※初期値は東京)



5. 郵便番号設定

■設置する地域の郵便番号を入力します

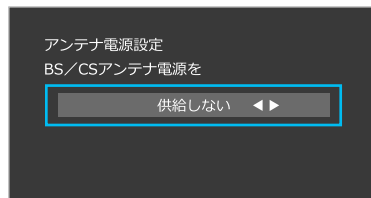
リモコン[◀/▶]ボタンでカーソル移動
[数字]ボタンで数値を入力 [決定]ボタンで次項へ
(※初期値は000-0000)



6. アンテナ電源設定

■衛星放送用のアンテナに電源を供給するか選択します

リモコン[◀/▶]ボタンで供給の有無を選択
[決定]ボタンで次項へ (※初期値は供給しない)



7. チャンネルスキャン

■本機に取付けた地デジ受信アンテナで受信可能な地デジ放送各局を本機に登録します

リモコン[◀/▶/▲/▼]ボタンで各項目を選択
[決定]ボタンでスキャン開始



①スキャンする電波(周波数)や地域を確認して[決定]を押す
→②受信(視聴)可能な各放送局をスキャン
→③スキャン完了後に登録された各放送局名がリスト表示/[決定]ボタンで次項へ



8. 設定終了

■当項で行った本機の設定/登録情報が表示されます。

リモコン[◀/▶]ボタンでカーソルを移動
【終了】タグを選択して[決定]ボタンを押すと登録CHスキャンで登録した地デジ番組の放映が始まります。

※【リセット】タグを選択すると
再度初期設定(1,言語設定)へ戻ります



■初期設定を終了した後も、各設定項目を個別に変更することが可能です。
(本書 P32 ~をご参照ください)

<設定しても放送が正しく映らない場合>

初期設定を終えるとチャンネルスキャンで登録されたテレビ番組が表示されます。

「テレビ番組が全く表示されない」「画面が乱れる」などの症状が出た場合は、地デジ放送の受信方法やアンテナの設置方法などに問題がある場合があります。以下を参照にご確認ください。

① デジタル放送の受信方法の確認

■ 屋外アンテナの場合：

地上デジタル放送受信には「地デジ用UHFアンテナ」が、BS/CSデジタル放送受信には「BS/CS受信用アンテナ」がそれぞれ必要です。本機と接続したアンテナが各放送受信用アンテナであるかどうかをご確認ください。
(詳しくはお近くの電気店やアンテナ設置業者などにご相談ください)

■ ケーブルテレビの場合：

デジタル放送を視聴するために、ケーブルテレビ放送 (CATV) やマンションなどの共聴システムをご利用の場合は、「パススルー方式」で伝送されているか、ご契約のCATV会社や共聴システムの管理者にご確認ください。

② デジタル放送の受信強度 (アンテナレベル) の確認

* 以下記載の<アンテナレベルの確認方法>を参照に受信感度をご確認ください。

■ 50%未満の場合：

「アンテナの設置位置が悪い」「電波が弱い」「電波障害が起きている」などの可能性がありますのでお近くの電気店やアンテナ設置業者などにご相談ください。

■ 50%以上の場合：アンテナ線などの接続に間違いはありませんか？ご確認の上、再度チャンネル設定を行ってください。

<アンテナレベルの確認方法>

1. メニュー画面を表示する

リモコンの [メニュー] ボタンを押してメインメニューを表示します。



2. 受信レベル確認画面を表示する

リモコンの [▲][▼][◀][▶] ボタンを押して、<チャンネル> → <受信レベル> にカーソルを移動させ [決定] ボタンを押します。



3. 表示されたアンテナレベルを確認する

アンテナレベルの「ステータスバー」及び「現在値」をご確認ください。



注意 ● アンテナレベルが低いと「テレビ視聴ができない」「画面が乱れる」「音声しか出ない」など様々な症状が起きる場合があります。安定して地デジ番組をお楽しみいただくためには、十分な受信レベル (目安：60%以上～) を確保できる場所へアンテナの設置・方向の調整を行ってください。

※ 屋外アンテナの設置位置や方向などの調整は、高所での作業となる為大変危険です。アンテナ設置業者や電気店などへご相談いただくことをお勧めします。

テレビを視聴する

◎当項目では機器の基本的な使い方操作や機能などをご案内いたします。

基本的な使い方 (P.19)

電子番組ガイド(EPG)の利用 (P.21)

ワンセグ放送の視聴 (P.22)

基本的な使い方

本機の主な操作はリモコンを使用して行います。基本的な操作は以下の通りです。

電源を入れる／切る (※待機状態)

- ・本体が通電された(アダプターと接続している)状態で、本体側面の主電源スイッチを入れると、システム読込表示の後、本体が起動します。(状態ランプ:緑点灯)
駆動中にリモコンの[電源]ボタンを押すと待機状態となります。(状態ランプ:赤点灯)
※状態ランプ...<消灯:主電源(切)>・<赤点灯:待機状態>⇔<緑点灯:駆動中>
*ヒント(?)表示ランプ『赤』が点滅している → 番組録画中の状態を表しています

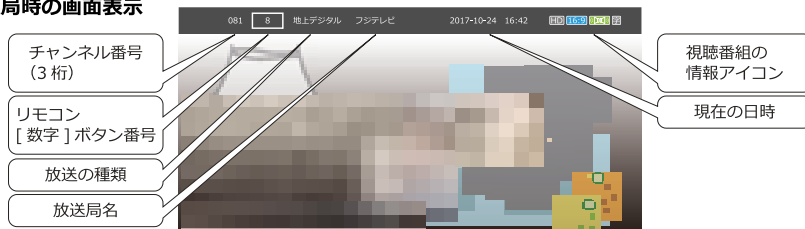
視聴する受信波／モードを選ぶ

- ・リモコンの[地デジ][BS][CS]ボタンで視聴する受信波を切り換えます。
- ・リモコンの[入力切換]ボタンを押すと視聴モードの選択項目が表示されます。
*選択項目 : <テレビ>▲▼<AV>▲▼<HDMI>▲▼<外部データ再生>

放送チャンネルを選局する

- ・リモコン(又は本体)の[CH+/-]ボタンを押すとリモコン設定で割り振られたチャンネル登録順に切り換わります。
- ・リモコンの[数字]ボタンを押すと各ボタンに割り振られたチャンネルに切り換わります。(ワンタッチ選局・下記お知らせ参照)
- ・チャンネル番号を入力して選局する場合は、リモコンの[3桁入力]ボタンから行います。(ワンセグ放送サービスのご視聴はこちらから選局)

●チャンネル選局時の画面表示



※表示された情報はしばらくすると消えます。

音量を調節する／一時的に消す(消音機能)

- ・リモコンの[音量+/-]ボタンを押すと音量の調節ができます。
- ・一時的に音声を消す場合はリモコンの[消音]ボタンを押します。
(消音状態で[消音]または[音量+/-]を押すと音声が出ます)



お知らせ

- リモコンの[数字※1~12]ボタンで選局ができる番組は以下の通りです。
⇒「メインメニュー」⇒「チャンネル」⇒「リモコン設定(地デジ/BS/CS)」でリモコン番号を登録したチャンネル
- 枝番のついた放送一覧は、地デジ放送の隣接地域の同じチャンネル番号放送を複数受信したときに設定・表示されます。
- 順次選局の順番は、放送の運用規定に従います。(番号順にならない場合があります)
- お買い上げ直後や、お買い上げ時の設定に戻した直後は、チャンネル番号入力での選局ができない場合があります。

基本的な使い方

3桁入力による選局

リモコンの[3桁入力]及び[数字]ボタンでチャンネル番号を入力します。

1. [3桁入力]ボタンを押す ⇒ 画面右上に番号入力タグを表示
2. [数字]ボタンで番号を入力 (3桁のCH番号と枝番がある番組があります。必要に応じて入力します。)
3. [決定]ボタンを押して番号を入力したチャンネルに切り換える

番号入力



例：チャンネル番号「023」を選局する時はリモコンの数字ボタンを [10/0] → [2] → [3] の順に押します。

- ボタンは3秒以内に次のボタンを押してください。
- 入力した番号を入力しなかつた時は、リモコンの[戻る]を押した後、再度[3桁入力]を押します。

字幕表示 / 音声切替

リモコンの[字幕切替][音声切替]ボタンで各機能の設定項目を開きます。

〈字幕の設定〉 *設定項目:〈字幕オフ〉▲▼〈第1言語〉▲▼〈第2言語〉

〈音声の設定〉 *設定項目:〈主音声ステレオ〉▲▼〈解説放送ステレオ〉 など

※視聴中の番組データにより表示方法が異なります

(視聴中の番組が「字幕放送」「音声多重放送」であるかどうかは [番組表] 又は [番組情報] からご確認ください)



※字幕の表示や音声切替は視聴番組が対応している時のみ適応されます。

※設定時の表示方法などは、実際の画面表示と異なる場合があります。

d データ放送の視聴

データ放送がある番組を視聴中にリモコンの[dデータ]ボタンを押します。

- データ放送に切り換わった後、[カラーボタン(青/赤/緑/黄)]等を利用します。再度[dデータ]を押すと通常の番組視聴に戻ります。

※データの読み込みに若干時間がかかる場合があります(数秒程度) ※視聴中の番組データにより表示方法が異なります

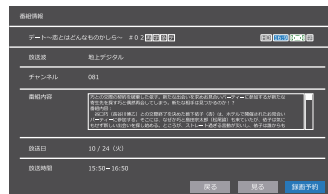
番組情報を見る

リモコンの [番組情報] ボタンを押すと視聴中の番組の詳細情報を表示します。



※番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかる場合があります。

※番組情報取得のタイミングによって、最新の情報が表示されない場合があります。



オフタイマー設定

設定した時間経過後に電源を切ります(待機状態)。

リモコンの[オフタイマー]ボタンを押して選択タグを表示します。

*設定項目 :〈字幕オフ〉▲▼〈30分〉▲▼〈60分〉▲▼〈120分〉▲▼〈180分〉



※設定した時間になる前に電源をオフにすると、設定は取り消されます。

※オフタイマーの設定は「設定画面(メインメニュー)」からでも行えます。

※パスワードの設定



パスワードを変更した場合は必ずメモを取り大切に保管してください。

重要 設定変更後に不具合等が発生した場合、パスワード紛失は無償保証の対象外となります。

■パスワード設定操作...

[メニュー] ボタンから設定画面を表示する

→〈機器設定〉タグ→〈パスワードを変更する〉を選択

→〈番号入力〉現在の設定数字を入力 ※初期値:0000

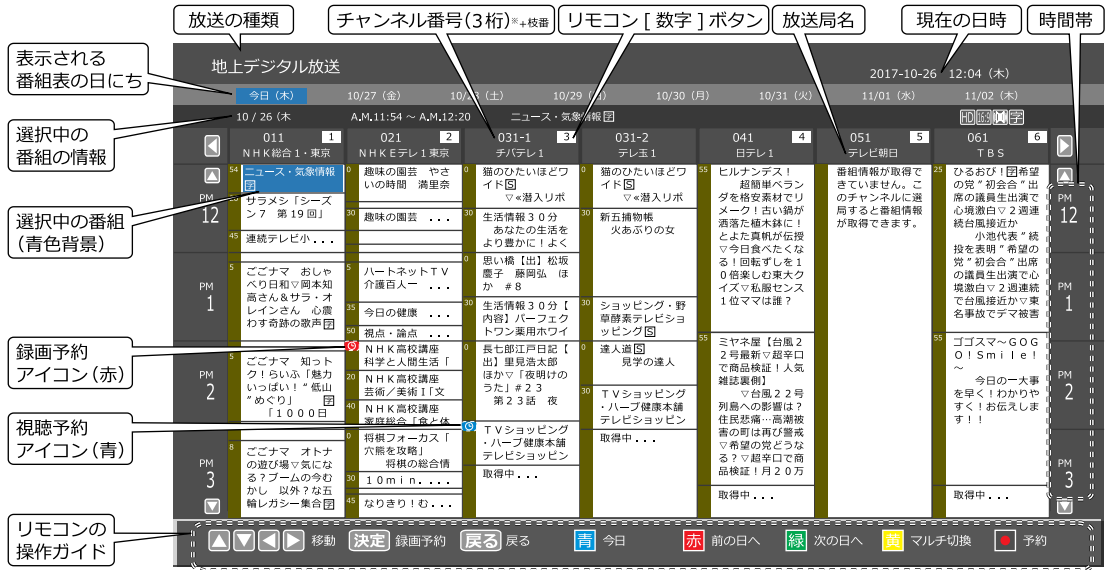
→〈決定〉→〈任意の数字を入力/再入力〉→〈決定〉

※パスワード(暗証番号※4桁の任意の数字)は、視聴年齢制限のある番組を見る時などに必要です。パスワードを設定した場合、暗証番号の変更や削除および設定リセットを行う際にもパスワードの入力が必要になりますので、必ずメモなどに控え忘れないよう大切に保管してください。

電子番組ガイド (EPG) の利用

番組表 (EPG) の見方

デジタル放送を視聴中にリモコンの[番組表]ボタンを押すと、電子番組表(EPG)が表示されます。



■番組表は7チャンネル/4時間分が表示されます。取得できる番組表は最大8日分です。

●番組表表示時のリモコン操作：

- *[▲][▼][▶][▶]：各カーソルの移動 * [決定]：各操作の決定 * [戻る]：一つ前の操作に戻る
- * [青]：現在の時間帯へ * [緑]：次の日へ進む * [赤]：前の日へ戻る（※現在の時間帯より前には戻りません）
- * [黄] マルチ切換 * [録画]：選択中の番組の録画を予約（※外付けメモリーが無い場合は無効）



注意 ※各放送番組の番組表を取得/表示できるまでは、時間がかかる場合があります。
 （ご購入後すぐの起動時や再スキャンした後の番組表取得は、特に時間がかかる場合があります。）
 ※番組の中止/変更/延長などによって、実際の放送内容が番組表とは変わるまたは、異なる場合があります。

番組表から視聴番組/録画番組を予約

* 番組表から情報を見たい番組を [▲][▼][▶][▶] ボタンで選択して、[決定] を押すと右図のような番組の詳細情報が表示されます。

視聴の予約をしたい場合は「視聴予約」を、録画の予約をしたい場合は「録画予約」を選択して、[決定] を押します。

* 番組情報画面を消すには、リモコンの [戻る] ボタンを押します。
 （視聴中の番組情報を見たい場合は、リモコンの [番組情報] ボタンで表示できます。）

※番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかる場合があります。
 ※番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報が表示されないことがあります。

* 「録画予約」は番組表から録画したい番組を選択して、[録画] を押すと、番組情報を表示せずに予約することも可能です。

1. リモコンの[番組表]を押して、番組表を表示する
 2. リモコンの[▲][▼][▶][▶]ボタンで選択部分(青色)を視聴したい番組に移動
 3. リモコンの[録画]ボタンを押す
- 番組表に録画予約アイコン(赤色)が点灯します。



注意 ※市販の録画用外付けHDD等と正しく接続されていない場合は録画機能はご利用いただけません。
 ※本機で録画したデータはパソコンや他の機器では視聴再生できません。

(※録画・予約に関する詳細は、本書 P23 ~ をご参照ください)

※ワンセグサービス(地デジ)の視聴

◎本機では、地デジ番組各放送局のワンセグサービスの受信(視聴)が可能です。
ただし、以下機能はフルセグサービス受信に対してのみ対応しております。

- チャンネルスキャン時のリモコンの自動割り付け
- ワンセグ放送番組の録画
- 電子番組表(EPG)への表示や操作

※ ワンセグ放送サービスはB-CAS未装着でもご視聴いただけます

◎ワンセグ放送の視聴方法

- ① 〈メインメニュー〉⇒〈地上デジタル放送リモコン設定〉に進み、初期スキャン時に本機に登録したチャンネル番号を表示する。
- ② ワンセグ放送サービスは一覧内の「名前」の項目に「データ」と表示されます。ご視聴されるチャンネル番号(3桁)を確認します。
- ③ 〈メインメニュー〉を閉じてから、リモコンの[3桁入力]ボタンを押します。
- ④ [数字]ボタンで②で確認したチャンネル番号を入力後、[決定]を押します。
(ヒント) リモコン番号を数字ボタンで入力する場合、[-]=[0][0]/[1]=[0][1]と入力します。

メインメニュー

チャンネル	視聴設定	機器設定	システム	録画設定
受信レベル				
チャンネルスキャン				
地上デジタル放送リモコン設定				
B S デジタル放送リモコン設定				
C S デジタル放送リモコン設定				

受信レベルの確認

決定 決定 戻る

放送局	名前	チャンネル	リモコン番号	スキップ
NHK総合1・東京	テレビ	011	1	受信 ◀▶
NHK総合2・東京	テレビ	012	-	受信 ◀▶
NHK携帯G・東京	データ	611	-	受信 ◀▶
NHKEテレ1東京	テレビ	021	2	受信 ◀▶
NHKEテレ2東京	テレビ	022	-	受信 ◀▶
NHKEテレ3東京	テレビ	023	-	受信 ◀▶
NHK携帯2	データ	621	-	受信 ◀▶
チバテレ1	テレビ	031-1	3	受信 ◀▶
チバテレ2	テレビ	032-1	-	受信 ◀▶
チバテレ携帯1	データ	631-1	-	受信 ◀▶

(豆知識)

地上デジタル放送(ISDB-T)では、帯域幅約5.75MHzの電波を1チャンネル分として各放送局に対し割り当てられています。1チャンネルは13の帯域幅(429kHz)で分割されていて、その1つの単位をセグメントと称されます。

ワンセグ放送サービスは13セグメント中の1セグメントを小型の動体端末(スマホやカーナビなど)向けに放送局から番組データを伝送されているサービスです。

極力映像や音声等のデータ量を小さく抑えて伝送する技術の為、大画面の端末等で視聴した場合、画像が鮮明でなかったりノイズが発生するなどの場合があります。

ただフルセグ放送サービスと比べると、車中や山間地域等の電波受信環境でも視聴ができる場合もあります。

「録画」に関する機能や操作

◎当項目では録画機能に関連する基本操作や機能などをご案内いたします。

録画機能について (P.23)

録画用メディアの準備 (P.24)

録画に関する機能の利用 (P.26)

録画機能について

録画機能をご利用いただく前に下記をよくお読みいただき正しくご理解の上でご利用ください。

- 本機は〈シングルチューナー〉搭載機です。裏番組録画機能（視聴中の番組以外の番組を録画する機能）はありません。
- 本機には記録用メディア（メモリー/ディスク）は内蔵されておりません。録画に関する機能をご利用される場合、別途市販のメディアをご用意ください。
（本機でご利用可能なメディアの仕様については P.24 をご参照ください）
- 録画用として利用するメディアは、事前に「試し録画」を行い、動作の確認を行ってください。
- 録画機能は入力ソースが〈テレビモード〉でのみご利用可能です。録画機能ご利用時は入力ソースを変更しないようご注意ください。特に録画予約を設定している場合、他のモード利用中に予約時刻がきてもソースは自動変更されない為、録画できません。
- 録画中に入力ソースを〈テレビ〉以外に切り換えた場合、録画は途中で強制終了します。
- 録画中は他のチャンネルに切り換えられません。
- 何らかの理由（主電源が切れる・受信波が途切れる、など）で録画が中断した場合、データが破損して再生できない場合があります。
- 番組ガイドは約8日後まで取得できます。番組ガイドで表示されない先の日付を予約する場合、指定録画で日付指定を行ってください。
- 同じ時間帯に重複した番組を録画することはできません。
- 本機で録画したデータは本機以外の機器で視聴（再生）できません。
- コピー禁止の番組や、外部機器（DVD プレーヤーなど）からの入力データを録画（記録）することはできません。録画は本機で受信したテレビ放送番組のみ可能です。
- 著作権保護の為、本機で録画したデータの移動やコピーは行わないでください。
- 故障などの理由で本機を修理（交換）した場合、以前記録したデータは視聴できなくなる場合がありますので予めご了承ください。
- 本機で録画したデータは、〈個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲〉内でお楽しみいただく以外には、著作権法上、権利者に無断で使用はできません。また、同範囲内でお楽しみいただく以外に、許諾なく複製や改変を行ったりインターネットなどで送信や掲示を行うことは著作権法上禁止されています。以下の行為についても原則として著作権法上保護された権利の侵害となりますのでご注意ください。
 - ・ 録画した番組を自身のホームページや SNS 等に掲載する / メールなどで他人に送る
 - ・ 録画した番組を営利目的で不特定多数へ貸し出す
- 著作権法に違反した場合、刑事処罰を受ける場合もあります。自己責任のもとでご利用ください。（著作権法違反により生じた損害などに関し当社は一切の責任を負いません）

メディアの準備

本機でご利用いただけるメディア（メモリー/ディスク）

◎録画に関する機能をご利用いただく場合、別途データ記録用メディア（USBメモリーやHDDなど）が必要です。お買い求めの際はメディアの仕様にご注意ください。

- USB（Type-A）接続可能なメディア（フラッシュメモリー・外付HDD※ など）
*標準規格：USB2.0 *推奨容量：～500GB
※外付HDD（ハードディスク）は『電源供給型』のものを推奨

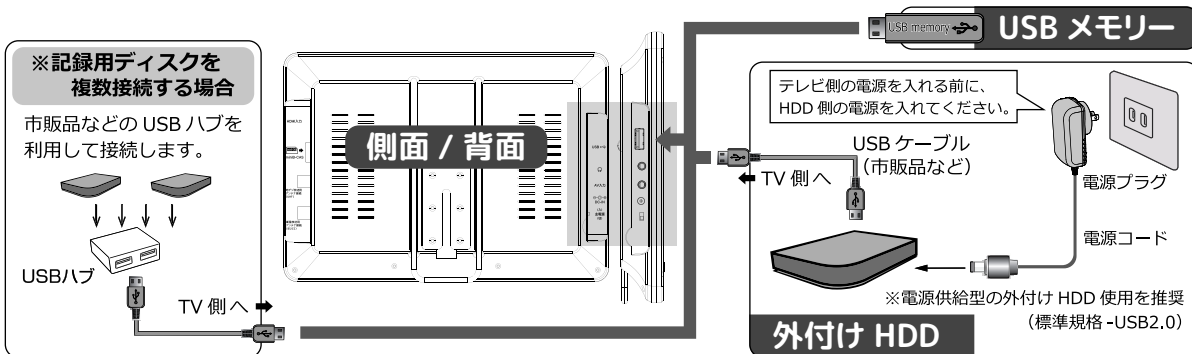
⚠️ 大容量のメディアをご利用される場合

※本機でご利用可能なメディアのファイルシステム形式（フォーマット）は【FAT32】又は【NTFS】です。その他の形式にフォーマットされたもの（FAT16/exFATなど）は正しく認識されません。市販品などをご用意いただく際は、仕様のご確認をお願いいたします。

容量と録画時間の目安 ※放送番組のデータ量などにより変化します

フルセグ 録画	番組データ1秒あたり約1.70MBの場合	≒	容量1GBあたり約10分間録画
	空き容量15GBのメディアでは、約2.5時間分の録画が可能		

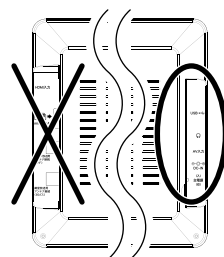
メディアを取り付ける



- (ヒント) ● USBハブを利用すると同時2台までのメディアを接続できます。
● メディアをフォーマットする時は必ずテレビと1対1で接続してください。
● メディアの容量は500GBまでのものを推奨しております。

⚠️ ご注意（ご確認）ください

※USBポートに正しく接続してください。
※パソコンやその他機器で利用していたメディアを再利用する場合、ご利用前に他のメディア等にデータのバックアップをとることを強く推奨いたします。



メディアの準備



テレビ番組を視聴中に〈USBポート〉にメディアを取付けた場合、左図(ディスクフォーマットの確認)が表示されます。

取付けたメディアを番組録画専用としてご利用される場合は「決定/実行」を選択してフォーマットを行います。

メディアに保存されているデータをご視聴される場合は、「キャンセル」を選択します。(メディアプレーヤーソフト利用)

番組録画用としてメディアを設定 / 確認 / フォーマット

◎〈USBポート〉に取付けたメディアの状態の確認やフォーマットの操作方法

- ① 「メニュー」ボタンを押して設定メニューを表示します。
- ② 〈録画設定〉→〈ディスクの設定〉→〈ディスク管理〉に進みます。(下図参照)
- ③ 〈ディスク管理〉項目内に設置したディスクの情報が表示されます。
番組録画用として設置したディスクを選択して「赤」ボタンを押します。
- ④ 〈フォーマットを実施しますか?〉と確認が表示されます。
「決定」ボタンを押すとフォーマットが実行されます。



■ [メニュー] ボタンを押して設定画面を表示します
→ [▲▼◀▶] ボタンでカーソルを移動させます
→ [決定] を押して項目を進めていきます



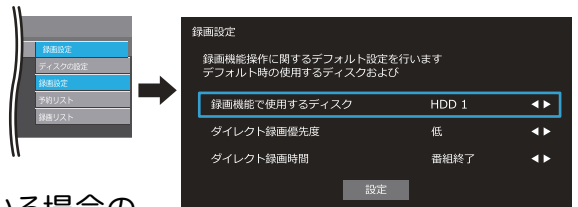
■ 本機と接続したディスクが一覧表示されます。
各ディスクのサイズなどを確認しながら録画用として使用するディスクを選び、フォーマットを行います。

◎〈録画操作〉に関する設定を行う

- 録画用ディスクのフォーマット完了後、録画に関するデフォルト(標準値)設定を行います。

複数のディスクを録画用として接続している場合の使用ディスクの選択やダイレクト録画*の優先度などの設定を行います。

(*ダイレクト録画 : P26 [視聴中の番組を録画する] 項をご参照ください)



* 〈設定画面〉→〈録画設定〉→〈録画設定〉→録画機能操作に関するデフォルト(標準値)の各設定

- ・録画機能操作で使用するディスク : ディスクが複数接続されている時の使用ディスクを選択します
- ・ダイレクト録画優先度 : 「予約録画」と「ダイレクト録画」の優先度を選択します(高/低)※低の場合 : 予約録画が優先
- ・ダイレクト録画時間 : ダイレクト録画で録画した場合、録画の終了時間の設定(1/2/4/6時間後/番組終了まで)

⚠ ご注意(ご確認)ください

※[FAT32][NTFS]以外のフォーマット形式のメディアは正しく認識されません。

※フォーマットを実行するとメディア内の保存データは全て消去されます。

フォーマット実行前に他のメディア等にデータのバックアップをとることを強く推奨いたします。
(データの破損や消去による損害などについて当社は一切その責任を負いません)

「録画」に関する機能の利用

視聴中の番組を録画する

現在視聴中のテレビ番組を録画する方法です。



- ① テレビ番組を視聴中に、リモコンの [録画] を押す。
- ② 右図の画面が表示されたら「はい」を選択後、[決定] を押すと録画がはじまります。

- * 録画中は本体の電源表示ランプが赤⇔緑に点滅します。
- * 録画を停止する場合は、リモコンの [停止] を押す。



※録画中に [画面表示] ボタンを押すと番組情報の右側に「録画中」と表示されます。

番組表から録画を予約する

電子番組表 (EPG) を利用して録画の予約をする方法です。

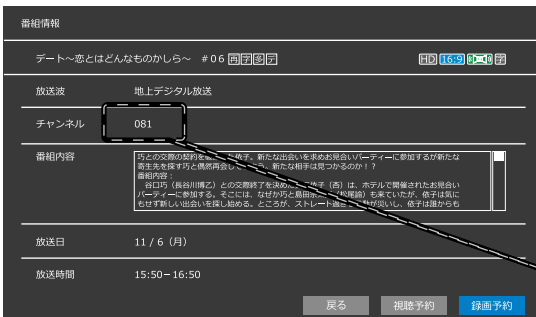
- ① テレビ番組を視聴中に、リモコンの [番組表] を押す。
- ② 画面に番組表が表示されたら、リモコンの [◀] [▶] でタグ (青帯) を録画したい番組に移動する。
- ③ リモコンの [録画] を押す。

* 録画予約をする番組の左上部分に「録画予約アイコン (赤)」が表示されれば予約完了です



日時を指定して視聴または録画の予約する

番組表から視聴や録画をしたい番組を日時を指定して予約する方法です。



* リモコンの [番組表]

→ 日時指定をかけて視聴または録画したいチャンネルを選択して [決定] (予約設定)

→ 左図のような画面が表示されたら「視聴予約」または「録画予約」を選択して [決定] を押す

※日時指定表示に切り換わります (次ページへ)

※左図の画面でチャンネル番号が予約をかけたいチャンネルになっているかをご確認ください。

「録画」に関する機能の利用

日時を指定して視聴または録画の予約する (つづき)



* [番組表] → [決定]
→ 「視聴予約」 / 「録画予約」を選択後 [決定] で左図のような画面に切り換わります (日時指定表示)

→ 「視聴予約」または「録画予約」をかけたい日時やモードをお好みで設定した後、「視聴予約 (または予約)」を選択して [決定] で予約完了です。
(※モードは1回/毎日/毎週から選択できます)

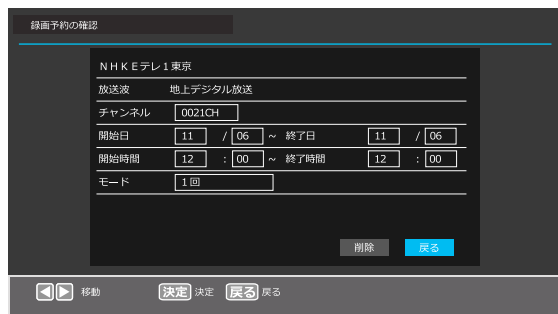


※番組表に戻ると
・視聴予約をかけた場合は青いアイコンが、
・録画予約をかけた場合は赤いアイコンが番組の左上部分に表示されます。

予約の確認・変更・取消

録画や視聴を予約登録したデータを管理する方法です。

- ①リモコンの [予約リスト] を押す。
 - ②リモコンの [青] [緑] で予約の種類を選択する。(青: 視聴予約 / 緑: 録画予約)
 - ③確認したい番組を選択して [決定] を押す。
 - ④予約の詳細が表示されます。(予約を取り消す場合は「削除」を選択して [決定])
- ※メインメニューから「録画設定」→「録画/視聴予約一覧」でも同じ操作ができます。



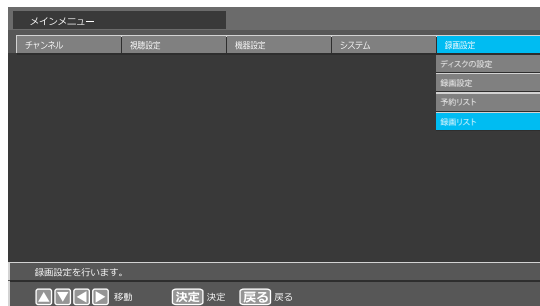
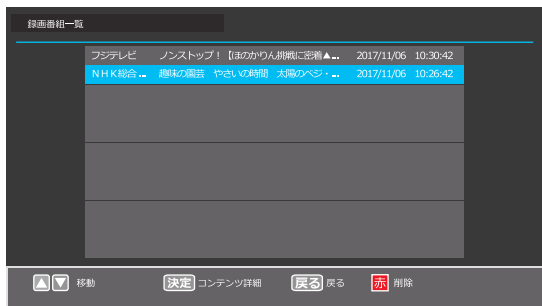
【予約 (録画予約や視聴予約など) の優先順位について】

- 「録画予約」と「視聴予約」が重なった場合、「録画予約」が優先されます。(録画予約 > 視聴予約)
- 録画中の番組が延長された場合、他の録画予約番組よりも録画中の番組が優先されます。(録画中番組 > 他の録画予約番組)

「録画」に関する機能の利用

録画した番組を再生する 録画したテレビ番組を再生する方法です。

- * リモコンの [録画リスト] → 録画番組一覧から再生したい番組を選択して [決定]
※再生中のデータを停止する場合は [停止] / 削除する場合は [赤]
(リモコンの [メニュー] → メインメニューの「録画設定」からも同じ操作が可能です)



【録画データ再生時の主なリモコン操作】

- [決定] : 録画リストから再生するデータを決定して再生が始まります
(データ再生を途中で止めていた場合、レジューム再生の選択が表示されます)
- [戻る] : 録画データ再生中に押すと録画リストに戻ります
録画リスト表示中に押すとテレビ番組視聴に戻ります
- [◀◀] : 早戻し再生 (押すごとに倍速が変わります : x2 → x4 → x8 → x16)
- [▶▶] : 早送り再生 (押すごとに倍速が変わります : x2 → x4 → x8 → x16)
- [◀◀] : 一つ前の録画データに移動・再生します
- [▶▶] : 一つ次の録画データに移動・再生します
- [■] : 再生中のデータを停止させ、録画リストに戻ります
- [||] [▶] : 再生データの一時停止 ⇄ 再生を行います



- * 録画データ再生中にリモコン [決定] を押すと画面下部に現在のステータスが表示されます。
- * ステータス内に表示されているリモコンボタンを押すと、各設定の切り換えが可能です。
- [▶] : 再生 [||] : 一時停止
- [赤] : リピート再生の設定 (オフ/シングル/オール/ランダム)
- [黄] : 字幕表示の設定 (データにより表記が異なる)
- [青] : 多重音声の設定 (主/副/主+副)

⚠ 注意

※録画データの再生中は、データ再生が優先されるため、録画に関する操作以外の操作ができません。
テレビ番組の視聴に戻る場合や外部機器入力を変更する場合などの操作を行う場合、リモコンの [停止] を押して、データの再生を停止させた後にその他操作を行ってください。
※本機で録画保存したデータは本機以外の機器で視聴・再生することはできません。

録画データを削除する 録画したテレビ番組データを削除する方法です。

- * リモコンの [録画リスト] → 録画番組一覧から削除したい番組を選択して [赤]
→ 録画ファイルを削除します「はい」「いいえ」と表示されたら「はい」を選択して [決定]

⚠ 注意

※一度削除したデータを復元することはできません。

付加機能を利用する

◎当項目ではテレビの視聴以外のご利用方法をのご案内いたします。

外部機器の接続 / 入力ソース切換 (P.29)

メディアプレーヤーソフト (P.30)

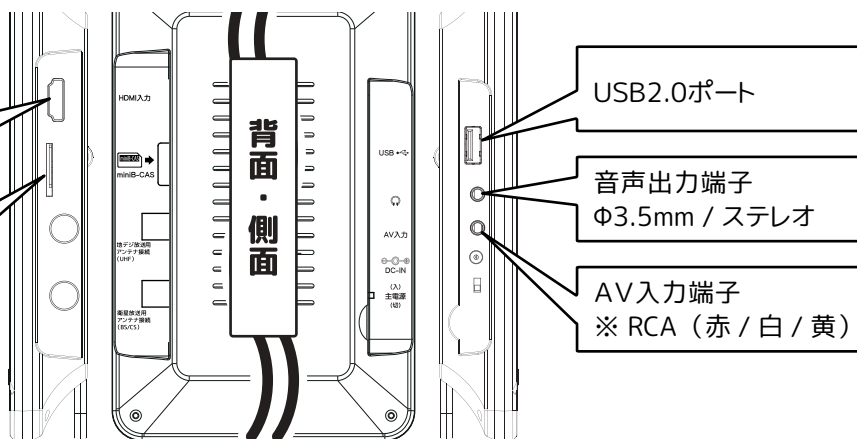
外部機器の接続 / 入力ソース切換

外部機器の接続

HDMI入力端子

★ miniB-CASカード
スロット (P.12)

(注) ★印の端子は
DTV (テレビ) モード
用端子です。



- 音声出力端子 : イヤホンや外付けスピーカー等の機器との接続用端子です。
- AV入力 * 端子 : AV 接続ケーブル (付属品) を利用して外部機器と接続を行うための入力端子です。
- USB2.0ポート : 「番組録画用メディア」又は「動画や音楽のデータが保存されたメディア」はこのポートに接続します。

※ 詳細は録画用メディアの準備(P.24~)及びメディアプレーヤーソフト (P.30~)を参照

- miniB-CAS スロット ※DTV モード用 / miniB-CAS カードを取付けます。(P.12)
- HDMI入力 * 端子 : HDMI 接続ケーブル (市販品等) を利用して外部機器と接続を行うための入力端子です。

(*) 〈AV 入力〉及び〈HDMI 入力〉では本機は外部機器のモニターとして動作します。
接続した外部機器側を本機で操作することはできません。

入力ソース切換 (モード切換)

- 「入力切換」を押します。
- 〈モード切換タグ〉が表示されたら「▲/▼」でカーソルを移動します。
- 「決定」を押すとモードが切り替わります。



(ヒント) 〈モード切換タグ〉表示は、しばらくすると消えます。

本機にはメディアプレーヤーソフトが内蔵されています。使い方は以下をご参照ください。

■別途必要な物: データが保存された外部メモリー(USBメモリーなど)

■本機で読込可能なUSB接続外付ディスク

* 標準規格: USB2.0 * ファイルシステム形式: FAT32形式またはNTFS形式

* ストレージ容量: 最大2TBまで (本機とUSB接続するディスクは電源供給型のを推奨)

※上記要件を満たしたディスクでも本機で認識されない場合があります。



■当ソフトで再生が可能なファイル形式

[動画] MPG・MPEG2-PS・AVI・3GP

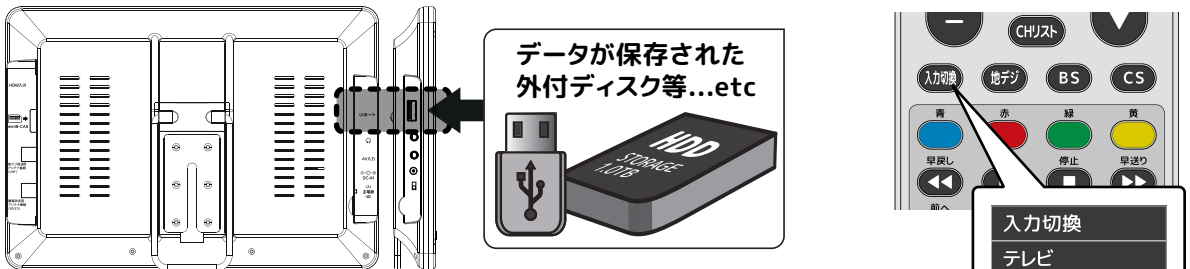
[画像] JPEG・BMP

[音楽] MP3・AAC

[テキスト] TXT

※上記形式ファイルでも保存サイズやコーデック形式によっては正しく再生されない場合があります

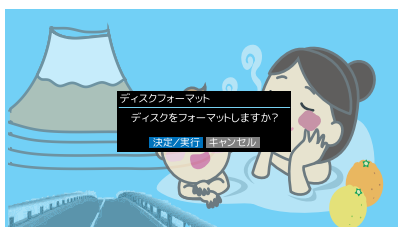
①動画や音楽などのデータが保存された外部メモリーを本機側面にあるUSBポートに接続します。



②リモコンの「入力切換」を押します。

画面にモード選択タグが表示されたら<外部データ再生>を選び、「決定」を押してモードを切り換えます。

③リモコン「▲」「▼」で再生するカテゴリー(動画/写真/音楽/テキスト)にカーソルを移動して「決定」または「◀」「▶」で次のフォルダー(ファイル)選択画面に移行していきます。再生するファイル名で「決定」を押すとデータの再生が始まります。



テレビ番組を視聴中に<USBポート>にメディアを取付けた場合、左図(ディスクフォーマットの確認)が表示されます。

取付けたメディアを番組録画専用としてご利用される場合は「決定/実行」を選択してフォーマットを行います。

メディアに保存されているデータをご視聴される場合は、「キャンセル」を選択します。(メディアプレーヤーソフト利用)

メディアプレーヤーモード時の主なリモコンボタン

●再生データを選択する時の操作(カテゴリー選択等)

- 「入力切替」: 視聴モードの切替え
- 「▲」「▼」: カーソルの移動
- 「◀」「▶」: カーソルの移動(カテゴリー選択時は次のフォルダへ移動)
- 「決定」: 次へ進む / 選択を実行する
- 「戻る」: カテゴリー選択画面に戻る
- 「メニュー」: 一つ前の操作に戻る

●【動画】データ再生中の操作

- 「赤」: リpeat方法の設定(オフ ⇒ シングル ⇒ オール ⇒ ランダム ↺)
 - *シングルリpeat: 再生中のデータのみを繰り返します
 - *オールリpeat: フォルダ内のデータを順番に繰り返して再生します
 - *ランダムリpeat: フォルダ内のデータをランダムに再生します
- 「黄」: 字幕の表示設定(オン ⇄ オフ)
- 「青」: オーディオの設定(主音声 ⇒ 副音声 ⇒ 主+副音声 ↺)
- 「◀◀」「▶▶」: データの早戻し / 早送り
- 「|◀◀」「▶▶|」: オール(またはランダム)リpeat設定時に前の(次の)データへ移動 ※リpeatオフ時は [戻る]
- 「■」: 停止
- 「▶」: データの再生 「||」: 再生データの一時停止

●【音楽】/【写真】データ再生中の操作

- 「赤」: リpeat方法の設定(オフ ⇒ シングル ⇒ オール ⇒ ランダム ↺)
 - *シングルリpeat: 再生中のデータのみを繰り返します
 - *オールリpeat: フォルダ内のデータを順番に繰り返して再生します
 - *ランダムリpeat: フォルダ内のデータをランダムに再生します
- 「黄」: 再生データの情報を表示
- 「決定」: 設定表示
- 「◀◀」「▶▶」: データの早戻し / 早送り
- 「|◀◀」「▶▶|」: オール(またはランダム)リpeat設定時に前の(次の)データへ移動
- 「■」: 停止
- 「▶」: データの再生 「||」: 再生データの一時停止

●【テキスト】データ再生中の操作

- 「赤」: データの上へ
- 「緑」: データの下へ
- 「青」: データの表示(移行)時間を設定(10秒~100秒)
- 「◀◀」「▶▶」: データの表示ページを戻す / 送る
- 「|◀◀」「▶▶|」: フォルダ内の前の(次の)データへ移動
- 「■」: 停止
- 「▶」: データの再生 「||」: 再生データの一時停止

●その他

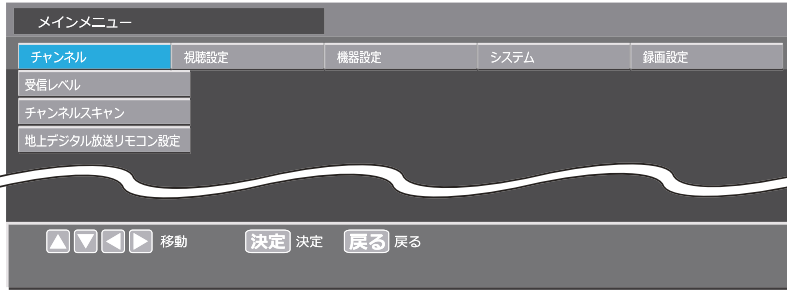
- 「音量(大/小)」: 音量の調整
- 「消音」: 出力音声をすぐに消す(⇄ 消音状態を解除)



機器の調整（機器設定メニュー）

〈メインメニュー〉から機器の調整を行う

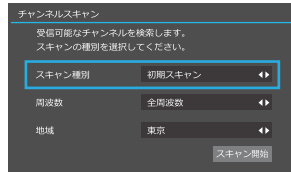
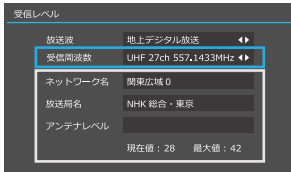
◎ リモコン「メニュー」ボタンより各種設定や調整を行います



【チャンネル】

■受信レベル: 受信状態の確認を行います。

■チャンネルスキャン: チャンネルスキャンを行います。



- *スキャン種別: 初期スキャン / 再スキャン
- *周波数: 全周波数 / UHF
- *各地域選択

■地上デジタル放送リモコン設定 ■BSデジタル放送リモコン設定 ■CSデジタル放送リモコン設定

放送局	名前	チャンネル	リモコン番号	スキップ
NHK総合1・東京	テレビ	011	1	受検
NHK総合2・東京	テレビ	012	2	受検
NHK Eテレ1・東京	テレビ	021	-	受検
NHK Eテレ2・東京	テレビ	022	-	受検
NHK Eテレ3・東京	テレビ	023	-	受検
テレビ1	テレビ	031-1	3	受検
テレビ2	テレビ	032-1	-	受検
テレビ1	テレビ	031-2	-	受検
テレビ2	テレビ	032-2	-	受検
テレビ3	テレビ	033-2	-	受検

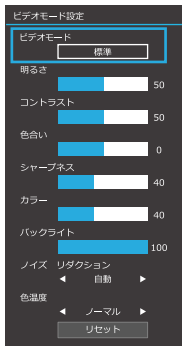
:チャンネルスキャンで受信登録した番組の確認 / リモコン番号の割付け / 受信スキップの設定を行います。

- *[▲][▼]: 放送局の選択
- *[数字ボタン]: 選択した放送局のリモコン番号の変更 / 設定
- *[◀][▶]: 選択した放送局の受信・スキップの変更 / 設定
- *[戻る]: 一つ前の操作に戻る

【視聴設定】

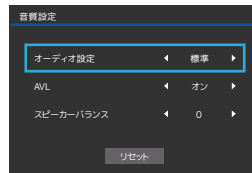
■ビデオ設定: プリセットの映像設定を設定します。

■音質設定: 出力音声の調整を行います。



- *[▲][▼]: 選択項目の移動
- *[◀][▶]: 選択項目の切換え
- *[決定]: 選択項目を決定
- *[戻る]: 一つ前の操作に戻る

- ビデオモード: ※下記参照
- ノイズリダクション: 自動/低/中/高/オフ
- 色温度: 標準/寒色系/暖色系



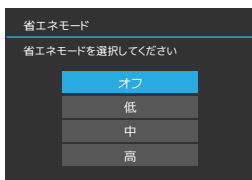
- *[▲][▼]: 選択項目の移動
- *[◀][▶]: 選択項目の切換え
- *[決定]: 選択項目を決定
- *[戻る]: 一つ前の操作に戻る

- オーディオ設定: ※下記参照
- AVL: オン/オフ
- スピーカーバランス: -50~50

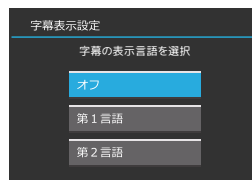
※ビデオモードは「標準」「スポーツ」「映画」「ゲーム」「ビッド」「穏やか」「個人」から選択できます。
 ※オーディオ設定は「標準」「映画」「音声」「音楽」「個人」から選択できます。

■省エネモード: 液晶パネル(バックライト電力)を調整/設定

■字幕表示設定: 字幕 / 文字スーパー表示の設定を行います。



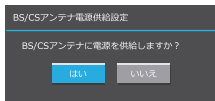
- *[▲][▼]: 選択項目の移動
- *[決定]: 選択項目を決定
- *[戻る]: 一つ前の操作に戻る



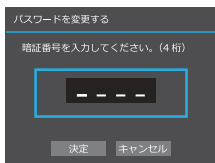
- *[▲][▼]: 選択項目の移動
- *[決定]: 選択項目を決定
- *[戻る]: 一つ前の操作に戻る

機器の調整（機器設定メニュー）

【機器設定】



- BS/CSアンテナ電源供給設定：本機と接続する衛星放送用アンテナに本機から電源供給を行うかの設定を行います。
 * [◀][▶]: 選択項目の移動
 * [決定]: 選択項目を決定 * [戻る]: 一つ前の操作に戻る

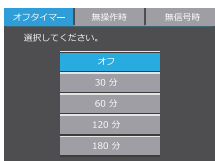


- パスワード変更：パスワード(暗証番号)を設定します。

- * [数字ボタン]: 暗証番号を入力
- * [▲][▼]: 選択項目の移動
- * [決定]: 選択項目を決定
- * [戻る]: 一つ前の操作に戻る

■ご購入時(工場出荷時)の暗証番号は「0000」です。

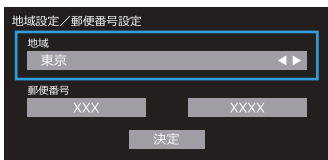
※暗証番号を変更する際は、必ずメモなどに控えをとり、無くさないように大切に保管してください。暗証番号を変更した後に製品サポートを受ける時、暗証番号がわからない場合は有償サポートになる場合があります。



- オフタイマー設定：オフタイマーや無操作/無信号時の電源管理の設定を行います。



- * [▲][▼][◀][▶]: 選択項目の移動
- * [決定]: 選択項目を決定
- * [戻る]: 一つ前の操作に戻る



- 地域設定/郵便番号設定：設置場所を移動した(引越し等)場合、その地域の情報を再設定します。

- * [▲][▼][◀][▶]: 選択項目の移動
- * [数字ボタン]: 数値を入力
- * [決定]: 選択項目を決定
- * [戻る]: 一つ前の操作に戻る

【システム】



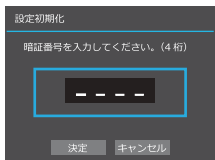
- 言語設定：メニューの表示言語を選択します。

- * [▲][▼]: 選択項目の移動
- * [決定]: 選択項目を決定
- * [戻る]: 一つ前の操作に戻る

■システム情報：



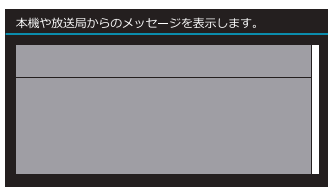
システム情報を表示します(メンテナンス/サポート用)



- 設定初期化：全ての設定を初期化します。

- * [数字ボタン]: 暗証番号を入力 * [▲][▼]: 選択項目の移動
- * [決定]: 選択項目を決定 * [戻る]: 一つ前の操作に戻る

※初期化を行うと工場出荷時の状態に戻ります。テレビを視聴する場合、改めて初期設定を行ってください。



- 放送メール：本機や放送局(UHF)から届くメッセージを表示します。

- * [▲][▼]: 選択項目の移動
- * [決定]: 選択項目を決定
- * [戻る]: 一つ前の操作に戻る

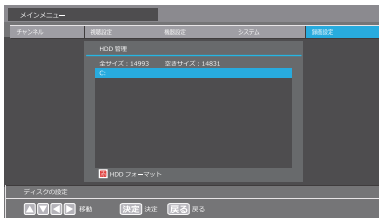


- CS掲示板：放送局(CS110°)から届く掲示板情報を表示します。

- * [▲][▼]: 選択項目の移動
- * [◀][▶]: 掲示板1⇄掲示板2の切替え
- * [決定]: 選択項目を決定
- * [戻る]: 一つ前の操作に戻る

機器の調整（機器設定メニュー）

【録画設定】

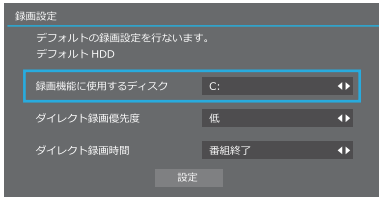


■ ディスクの設定:

番組録画用として設置したメディアの確認やフォーマットを行います。

- *[▲][▼][◀][▶]: 選択項目の移動
- *[赤]: 外部メディアを録画用ディスクとしてフォーマット
- *[決定]: 選択項目を決定
- *[戻る]: 一つ前の操作に戻る

※録画用フォーマットにつきまして、
詳細は本書P.24をご参照ください

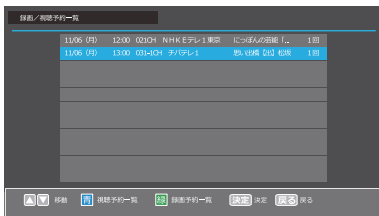


■ 録画設定:

録画に関するデフォルト(標準値)設定を行います。

- *[▲][▼][◀][▶]: 選択項目の移動
- *[赤]: 外部メディアを録画用ディスクとしてフォーマット
- *[決定]: 選択項目を決定
- *[戻る]: 一つ前の操作に戻る

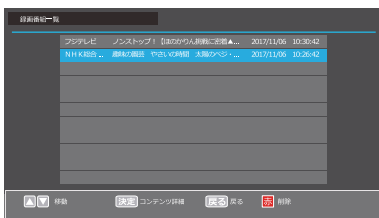
※録画用フォーマットにつきまして、
詳細は本書P.24をご参照ください



■ 予約リスト: 視聴(または録画)を予約した各番組をリスト化して表示します。また、各予約について詳細の確認等を行います。

- *[▲][▼][◀][▶]: 選択項目の移動
- *[青]: 視聴予約リストを表示
- *[緑]: 録画予約リストを表示
- *[決定]: 選択項目を決定
- *[戻る]: 一つ前の操作に戻る

※予約の確認などにつきまして、
詳細は本書P.26をご参照ください



■ 録画リスト: 録画したデータをリスト化して表示します。

また、録画データの再生などの操作を行います。

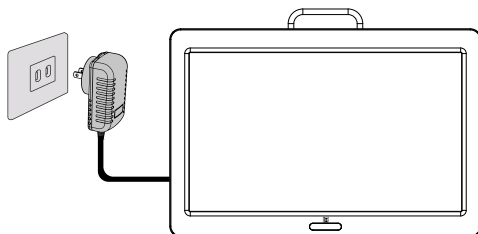
- *[▲][▼][◀][▶]: 選択項目の移動
- *[赤]: 選択した録画データを削除
- *[決定]: 選択項目を決定
- *[戻る]: 一つ前の操作に戻る

※録画データの再生などにつきまして、
詳細は本書P.28をご参照ください

◎故障かな?と思ったら、サポートセンターへお問合せの前に以下を再度ご確認ください。

■「電源が入らない」「放送が映らない」などの場合
〈電源 (P.15)〉〈アンテナ (P.13)〉をご確認ください。

- ・「コンセント」「電源アダプター」「本体」はそれぞれ正しく接続されていますか?
- ・「コード部分や各接続箇所 (端子部分) の断線・破損・汚れ」等はありませんか?



- ・「アンテナ」は正しく接続されていますか?
- ・「コード部分や各接続箇所 (端子部分) の断線・破損・汚れ」等はありませんか?
- ・「アンテナ」は正しく放送波を受信できていますか?また受信レベルが不足していませんか?

■ このような場合は故障ではありません

※キャビネットなどから「ピシッ」というような軋み音がある場合があります。これは設置場所の温度変化によりキャビネットの伸縮が起きた時に発生する音です。液晶画面部分やスピーカーの高音等に異常がなければ機器のご利用にあたり問題はありません。

※本機電源が待機 (スリープ) 状態の時、機器内部から「カチッ」という音がある場合があります。これは番組情報取得などを行う際に機器内部が動作した時で発生する音です。内部部品製造時における構造上の仕様につき故障ではありませんのでご了承ください。

※液晶パネルにはごくわずかな画素欠けや常時点灯画素がある場合があります。これは液晶パネル製造時の特性における仕様につき故障ではありませんのでご了承ください。

■ よくあるお問合せ ■

テレビ番組のご視聴 (受信) について

「特定のチャンネルが視聴できないのは故障ですか?」 などのお問合せをいただくことがあります。テレビ番組をご視聴いただくには下記 ①/② の条件が整うことが必須条件です。

- 条件①: 「本機に繋ぐアンテナが電波 (信号) を正しく受信できる場所に設置してある」
- 条件②: 「本機に繋いだアンテナが電波を正しく伝送しつづける」

ご準備いただいたアンテナ (P.13) と接続し、本機に放送局の登録 (P.16) を行った際に、1局でも放送局が登録された場合、本機側 (チューナーや主要基盤等) には故障はありません。アンテナ側が原因である場合がありますので、以下のご確認をお願いいたします。

- 確認①: 「アンテナの設置場所・方向がその地域に見合った位置であるかどうか」
- 確認②: 「アンテナの電波受信力が不足 (または過多) ではないか」
(この場合、ブースターや減衰器が必要になる場合があります)

※アンテナの調整や共同アンテナについてはアンテナ側メーカー・アンテナ設置業者・共聴システム管理者等にお問合せください。(アンテナに関するサポートは行っておりません)

※付属品の簡易アンテナは受信力が強い物ではありません。

「付属のアンテナで視聴できない」場合、受信力の強く安定するアンテナをご利用ください。

◎故障かな?と思ったら、サポートセンターへお問合せの前に以下を再度ご確認ください。

Q&A (電源/リモコン)

<ul style="list-style-type: none"> ・電源が入らない ・急に電源が落ちた 	<ul style="list-style-type: none"> ・付属品リモコンでは本体主電源のオン・オフは操作できません。 →主電源スイッチの確認 (P.8 / P.15) ・電源 (コンセント)・アダプター・機器の各接続部分が正確に取り付けられているかご確認ください。(P.15) ・オフタイマーの設定をご確認ください。(P.33)
<ul style="list-style-type: none"> ・リモコンが効かない 	<ul style="list-style-type: none"> ・リモコンの電池を交換してください。(P.10) ・本体のリモコン受光部に向けて操作してください。(P.10) (注) リモコンと本体の間に障害物があると操作が効きません。

Q&A (視聴・再生)

<ul style="list-style-type: none"> ・映像も音声も出ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンテナが外れていませんか? →アンテナの確認 (P.13) ・入力ソースをご確認ください。 →モード切替 (P.29 / P.30) ・電源 (コンセント)・アダプター・機器の各接続部分が正確に取り付けられているかご確認ください。(P.15)
<ul style="list-style-type: none"> ・音声が出ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・消音状態になっていませんか? ・イヤホン端子に機器が接続されていませんか? ・外部機器と正しく接続されていますか?
<ul style="list-style-type: none"> ・映像にノイズが出る ・画面に斑点や線 ・音声に異音が混ざる ・音声が乱れる ... など 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンテナの設置場所や方向をご確認ください。(P.13) ・「高圧線」「ネオン」「他の電子機器」などから電波 (磁気) 干渉が起きている可能性があります。本機を電波 (磁気) の影響が低い場所に移動してご利用ください。
<ul style="list-style-type: none"> ・縦線状の妨害が出て見えない 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンテナまたはアンテナ端子部分への妨害電波やノイズの影響が考えられます。この場合アンテナの高さや方向を調整するとある程度抑えることが出来ます。アンテナ・接続ケーブル・端子部分をご確認ください。 ・アンテナ接続ケーブルやその端子部分が外部機器やその他電子機器と近接している場合、設置場所を移動してください。

Q&A (視聴・再生)

<ul style="list-style-type: none"> ・フルセグサービスで番組視聴ができない ・衛星放送の番組が視聴できない 	<ul style="list-style-type: none"> ・B-CASカードをご確認ください。(P.12) ・アンテナの設置場所や方向をご確認ください。(P.13) ・アンテナが正しく本機に取付けられているかご確認ください。 ※本機側に同じ形状のアンテナ端子が2つあります。地デジ用と衛星用を間違えないようご注意ください。(P.13)
<ul style="list-style-type: none"> ・色が薄く見える ... など 	<ul style="list-style-type: none"> ・機器設定をご確認ください。(P.32) ・外部機器との接続をご確認ください (P.29) ・旧アナログ放送時の再放送番組をご視聴される場合、その画像は著しく悪く見えることがあります。
<ul style="list-style-type: none"> ・設置場所を移動したら視聴できなくなった (引越など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・本機の設置場所を他の地域に移動させた場合、改めてその地域で視聴 (受信) 可能な放送局 (CH) の登録が必要です。(P.16~)
<ul style="list-style-type: none"> ・番組視聴中に「映像」「文字情報」「番組内の時刻表示」がズれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル放送特有の現象です。デジタルデータの受信形式のため電波の受信から映像化されるまでの時差により数秒程度ズレて表示する場合があります。

Q&A (録画・外部メディア)

<ul style="list-style-type: none"> ・番組の録画ができない 	<ul style="list-style-type: none"> ・録画に関する機能の利用には別途市販品等のデータ記録用メディアが必要です。(P.24) ※メディアのフォーマット仕様・空き容量などにご確認ください。 ・本体側のUSB接続ポートをご確認ください。 ・録画用メディアとしてフォーマットされているかご確認ください。(P.25)
<ul style="list-style-type: none"> ・メディアプレーヤー 	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアプレーヤーの利用には別途データが保存されたメディアが必要です。(P.30) ※メディアのフォーマット仕様・空き容量などにご確認ください。 ・入力ソースをご確認ください。 →モード切替(P.29/30) ・本体側のUSB接続ポートをご確認ください。 ・メディアに保存されたデータ形式をご確認ください。(P.30)

その他の症状が起きた場合 ...

- ・その他症状が起きた場合、本体システムの初期化を行ってください。
(機器設定メニューから初期化：P.33)

製品仕様

本体仕様	
本体サイズ	約)248×176×29mm
本体重量	約)500g
電源	[アダプター] AC100～240V 50/60Hz [本体] DC12V 3.0A
消費電力	22W(待機時：0.5W)
推奨作動条件	周辺温度：0～40℃ / 相対湿度：20～80% ※結露なきこと
液晶	10.1インチTFT / LEDバックライト / 1024*600RGB
スピーカー	2W×2
入出力端子	電源入力・アンテナ入力(UHF)・アンテナ入力(BS,CS)・HDMI入力 イヤホン出力・AV入力(RCA)・USBポート・miniB-CASスロット

地デジ / BS / CS	
受信チャンネル	地上デジタル：UHF 13ch～62ch(受信周波数：470～770MHz) BSデジタル：トランスポンダ BS1～BS23 110°CSデジタル：トランスポンダ ND2～ND24(12ch)
電子番組表	8日
※BS/CSは右旋円偏波のみ((4K/8K)は非対応)	
※CATV(共同アンテナ/ネット回線)伝送の場合「同一周波数パススルー方式」に対応(地デジ/BS,CS)	

メディアプレーヤーソフト	
対応ファイル形式	[動画] MPG・MPEG2-PS・AVI・3GP [音楽] MP3・AAC [画像] JPEG・BMP [テキスト] TXT

※保存サイズやコーデック形式によっては再生できない場合があります

*HDMI接続で機能する外部機器連動操作などの機能には対応していません。

*電子番組表(EPG:約8日分) / 字幕放送 / 音声多重放送は対応しております。

*CATV(ケーブルテレビ)などからの各放送波の伝送の場合、同一周波数による伝送のみ対応です。

*衛星放送(BS/CS)は右旋円偏波のみ対応しております。

左旋円偏波の放送(4K/8K)の受信やご視聴はできませんので予めご了承ください。

*付属品のリモコン用電池は動作確認用のものです。早めに新しい電池と交換してください。

その他（各種注釈や免責など）

デジタル放送のコピー制御について

- デジタル放送（地デジ/BS/CS）の伝送データのコピー制御にはB-CASの機能が利用されています。本機を利用してデジタル放送をご視聴される際は、必ず付属の miniB-CAS カードを設置してください。設置せずに本機をご利用された場合、伝送データが受像化されず、各番組をご視聴いただけません。（参照：P.12/B-CASカードの準備）

デジタル放送は鮮明で迫力あるハイビジョンなど高画質の放送番組をご視聴でき、また高画質のまま録画できることが特徴のひとつです。但し、著作権への配慮が必要な為、各放送局では伝送データにコピー制御信号を加えて送信しています。この制御により著作権を保護しながら番組の制作や放送できるように取り組んでいます。

（コピー制御信号の実際の運用は個々の放送局により判断の上、運用されています）

液晶パネルについて

- 液晶パネルは高精度の技術で作られており、微細な画素の集合で表示しています。99.99%以上の有効画素があり、ごく一部（0.01%以下）に光らない画素や、常時点灯する画素がありますが、故障ではありませんので予めご了承ください。

機器の温度・設置環境の温度

- 本機を長時間使用した時、液晶パネルや外装に熱を持つ場合があります。熱く感じる場合もありますが故障ではありません。
- 液晶パネルの特性により、設置環境の温度が低い場合、画像がぼやけたり動きがスムーズに見えなかったりすることがありますが故障ではありません。常温に戻ると回復します。

機器の輸送について

- 本体を横倒しにして輸送した場合、液晶パネル部の破損や画欠点などの恐れがありますので横倒しでの輸送は行わないでください。

製品の廃棄について

- 製品を廃棄する場合はお住まいの自治体の指示に従って廃棄してください。
（注）自治体により「燃えないゴミ」「資源ゴミ」「粗大ゴミ」「小型電気製品回収」など取り扱い方法が異なりますのでご注意ください

その他（各種注釈や免責など）

免責について

- お客様（又は第三者）が本製品の使用によって生じた損害等について、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社では一切その責を負いませんので予めご了承ください。（誤使用により生じた故障・使用中の故障・その他の不具合事象等含む）
- 当社が関与しない機器（他メーカー機器やデータやソフト等）などとの組み合わせによる誤作動や故障やその他不具合などによって生じた損害等について、当社では一切その責を負いませんので予めご了承ください。
- 取扱説明書（本書）の記載事項を守らないことにより生じた損害や事故等について、当社では一切その責を負いませんので予めご了承ください。

アフターサービス／保証規定

保証書（別添）

- 本品付属品として製品保証書が同梱されています。お買い上げ販売店にて「お買い上げ日」「販売店情報」を正確にご記入いただき、記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

「充電電池の交換」や「修理」をご依頼される場合

- 本書をお手元にご用意の上、当社お客様サポートセンターまで「電話」「FAX」「E-MAIL」「当社ホームページ問合せフォーム」にてお問合せください。お問合せ内容を確認の上、その内容に適したサポートをご案内させていただきます。

お客様サポートセンター

 **03-5670-0328**

（電話受付時間：【平日】10:00～12:30 / 13:30～17:00）

あかーと

検索

<https://akart.jp>



〒124-0025 東京都葛飾区西新小岩 5-26-15-1F
株式会社AKART.（アカート） サポートセンター
FAX: 03-5670-0378 / E-MAIL: support@akart.jp

（注）休日明けの営業日等は電話が混み合い繋がりにくい場合がありますので予めご了承ください。

保証規定

- 保証書（別添）に記載された「保証期間」において製品（本体）の故障や不具合が発生した場合、当社保証規定に準じて無料で修理等を行うことをお約束いたします。保証期間内に修理等をご依頼いただく場合、無料保証の対象であるかをご確認の上、「お客様サポートセンター（P.40）」までお問合せください。
 - (1) 無料保証を受ける場合、「必要な情報が正しく記入された保証書（別添）」または「保証書に準ずる書類（購入店舗や日時を証する書類など）」をお手元にご用意の上、当社サポートセンターまでお問合せください。
 - (注) 当社サポートセンターにおいて「店舗名やご購入日時が確認できない」場合、無料保証の対象外となりますので予めご了承ください。
 - (2) 無料保証の対象は製品本体のみです。付属品（消耗品）は保証対象外です。
 - (3) 下記のような場合、保証期間内であっても原則として有料対応となります。
 - 保証書（又は準ずる書類）のご提示が無い場合
 - 保証書に必要な情報が記入されていない場合
あるいは字句が書き換えられている場合
 - 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷
 - お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷
 - ほこり、昆虫類等の侵入、火災、天変地異（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧などで生じた故障、損傷
 - 一般家庭用以外（例えば業務用途など）で使用された場合の故障、損傷
 - 本製品以外を起因とする不具合や故障、損傷
 - ご使用に伴う摩耗や色あせなどの外観上の変形や不具合
 - 消耗品および付属品類の交換（修理）費用
 - 離島または離島に準ずる遠隔地への輸送費用
 - (4) 当規定による保証は日本国内においてのみ有効です。（Warranty void only Japan）
- 修理等の対応サービスについて
 - ※ 出張による修理や設置などのサービスは一切行っておりませんので予めご了承ください。
 - ※ 故障や不具合に対する対応サービスが「新品（代替品含む）との交換」となった場合、次回以降の対応につきましてはすべて有料での対応とさせていただきます。
 - ※ 当社と未取引の販売店（代理店を含む）でお買い上げいただいた場合、お買い上げ店舗での対応となる場合があります。
 - ※ 個人間での売買（オークション等含む）や譲渡されたものは無料保証の対象外となりますので予めご了承ください。
 - ※ 修理対応を行う場合、機器内部のパーツ部品交換などの為、仕様等が若干変わる場合がありますので予めご了承ください。

型番：OT-3PT101AK

長期間ご使用されていなかった場合、再度ご利用いただく際に点検をお願いいたします。



愛情点検

ご使用いただく前に ...

- 本体ケース（プラスチック部）に歪みや変形や割れなどはありませんか？
- ケーブル類に破損や断線や錆などはありませんか？

ご使用中やご使用後に ...

- 本体やアダプターが異常に熱くなる？ 異音や異臭がする？
- その他の異常や故障が見つかった？

- (お願い) ●上記のような場合、機器の故障や事故防止のため、
① アダプターをコンセントから外してください。 ② 本体の主電源をオフ（切）にしてください。
●①/②の後、お客様サポートセンターまでご連絡ください。(修理や点検に要する費用なども合せてご案内いたします)

お客様サポートセンター

 **03-5670-0328**

(電話受付時間：【平日】 10:00 ~ 12:30 / 13:30 ~ 17:00)

FAX: 03-5670-0378 / E-MAIL : support@akart.jp

あかーと

検索

<https://akart.jp>



〒124-0025 東京都葛飾区西新小岩 5-26-15-1F 株式会社AKART.(アカート)

(注) 休日明けの営業日等は電話が混み合い繋がりにくい場合がありますので予めご了承ください。